ICOM

取扱説明書

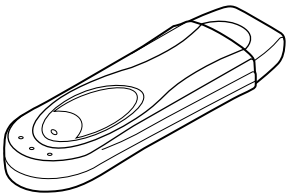
WAVEMASTER®

WIRELESS LAN UNIT

SU−80

[IEEE802.11n ドラフト]規格対応
[IEEE802.11a(W52/W53/W56)/b/g]規格対応

設定ユーティリティーについて 1
JUMPSTART™で自動設定するには 2
アクセスポイントと無線通信するには 3
パソコン同士で無線通信するには 4
ご参考に 5



Icom Inc.

5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、
電波法により、屋内に限定されます。

はじめに

本書では、本製品の詳細な機能やその使用方法について説明しています。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

【接続するときのご注意】

◎ パソコンの[USB]ポートに直接接続してください。
消費電力が大きいため、キーボードなど、小電力機器の[USB]ポートに接続して使用できません。

◎ 市販の延長ケーブルやUSB HUBには、接続しないでください。
機器によって特性が異なるため、通信中に誤動作することがあります。

パソコンのスタンバイモードについて

ご使用になるパソコンによっては、スタンバイモードから復帰したとき、本製品が正常に動作しないことがあります。
正常に動作しないときは、スタンバイモードを解除してご使用ください。
解除方法は、ご使用のパソコンの取扱説明書でご確認ください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。
Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
Atherosは、Atheros Communications, Inc.の登録商標または商標です。
Wi-Fi、WPA、WPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品の概要について

◎ [IEEE802.11a(W52/W53/W56)]規格、[IEEE802.11b/g]規格に加え、[IEEE802.11nドラフト]規格に対応しています。
※[IEEE802.11a(J52)]規格のチャンネル(34CH ～46CH)を使用する無線LAN機器とは通信できません。
※「アドホック」モードの場合、[IEEE802.11a(W52)]規格(36/40/44/48CH)と、[IEEE802.11b/g]規格(1CH ～13CH)以外では使用できません。
また、Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用した接続には、対応していません。

◎ [IEEE802.11n ドラフト]規格は、2倍の周波数帯域幅と複数のアンテナを使用してデータを同時に送受信することで、最大300Mbps(理論値)の速度で通信できます。
また、[IEEE802.11a(W52/W53/W56)/b/g]規格とも互換性がありますので、既存の無線ネットワークと通信できます。

◎ [IEEE802.11n ドラフト]規格と[IEEE802.11a(W52/W53/W56)/b/g]規格などのように異なる無線LAN規格の機器を同時に使用する環境において、[IEEE802.11nドラフト]規格の速度低下を緩和するプロテクション機能が自動で動作します。

◎ネットワーク認証は、「共有キー」、「オープンシステム」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA」、「WPA2」、「IEEE802.1X」に対応しています。
「WPA」、「WPA2」、「IEEE802.1X」を設定すると、認証にRADIUSサーバーを使用できます。

◎スキャンチャンネル選択機能を使用することで、接続されるまでのスキャン時間を短縮できます。

◎技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許は不要です。

◎「Wi-Fiアライアンス」が提唱するWPS(Wi-Fi Protected Setup)機能の搭載により、本製品に付属のJUMPSTART™アプリケーションを使用すると、SSIDと暗号化(WPA-PSK/WPA2-PSK)を本製品に自動設定できます。
※2009年1月現在、本製品は、Wi-FiアライアンスよりWPS認定されていません。

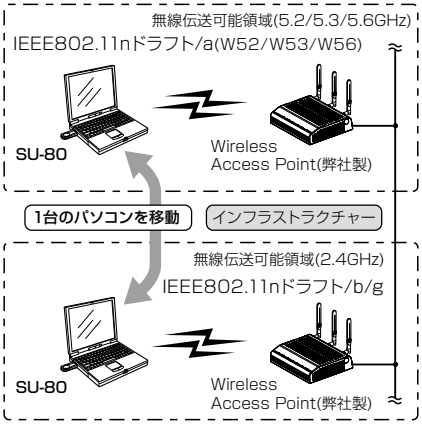
はじめに

通信形態について

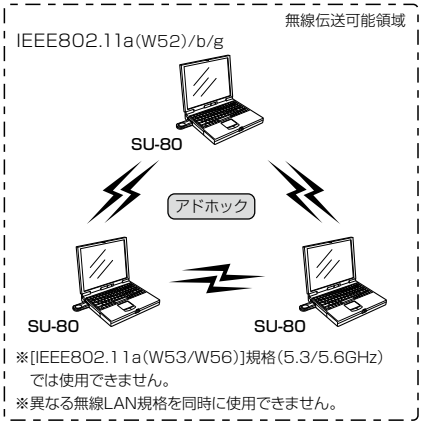
本製品は、ご使用の環境によって、次のどちらかの「無線通信モード」で通信できます。

※本製品に付属の設定ユーティリティー(☞1章)で指定した相手の通信形態に切り替わります。
また、「インフラストラクチャー」モードでは、Windows XP(Service Pack適用済み)やWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続(ゼロコンフィグレーション)でも通信形態を切り替えできます。

■アクセスポイントと無線通信する「インフラストラクチャー」モード(☞3章)



■パソコン同士が無線で直接通信する「アドホック」モード(☞4章)



※[IEEE802.11a(W53/W56)]規格(5.3/5.6GHz)では使用できません。
※異なる無線LAN規格を同時に使用できません。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「　」表記 :オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティー、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を(「」)で囲んで表記します。

[　]表記 :タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名を([ ])で囲んで表記します。

〈　〉表記 :ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(〈〉)で囲んで表記します。

※Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ BusinessおよびMicrosoft® Windows Vista™ Ultimateは、Windows Vistaと表記します。

Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Editionは、Windows XPと表記します。

※本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

無線LAN規格について

本製品が対応する無線LAN規格と最大通信速度の関係は、以下のとおりです。

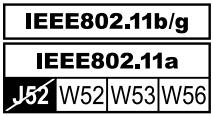
本製品が対応する無線LAN規格	周波数帯	帯域幅モード	最大通信速度(理論値)★
[IEEE802.11n ドラフト (W52)]	5.2GHz	20MHz	130Mbps
		40MHz	300Mbps
[IEEE802.11n ドラフト (W53)]	5.3GHz	20MHz	130Mbps
		40MHz	300Mbps
[IEEE802.11n ドラフト (W56)]	5.6GHz	20MHz	130Mbps
		40MHz	300Mbps
[IEEE802.11n ドラフト]	2.4GHz	20MHz	130Mbps
		40MHz	300Mbps
[IEEE802.11a (W52/W53)]	5.2/5.3GHz	――	54Mbps
[IEEE802.11a (W56)]	5.6GHz	――	54Mbps
[IEEE802.11g]	2.4GHz	――	54Mbps
[IEEE802.11b]	2.4GHz	――	11Mbps

※「アドホック」モードでは、[IEEE802.11nドラフト/a (W53/W56)]規格(5.3/5.6GHz)を使用できません。

★最大通信速度は、実際のデータ転送速度(実測値)を示すものではありません。

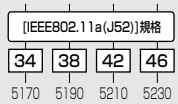
[IEEE802.11a(W52/W53/W56)]規格の無線通信チャンネルについて

右に記載する記号がある製品は、[IEEE802.11a(W52/W53/W56)]規格で採用された無線通信チャンネルに対応した製品を意味します。
無線アクセスポイントについても、右に記載する記号がある製品でご使用いただくことをおすすめします。
※本製品は、右記の表示に対応しています。



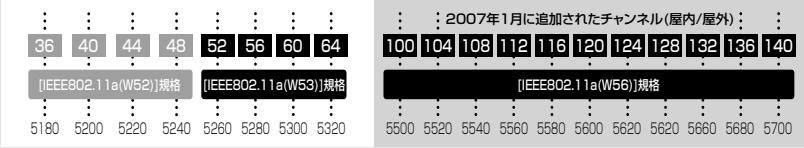
[IEEE802.11a]規格の周波数(MHz)

2005年5月以前の無線LAN規格



[IEEE802.11a(J52)]規格の無線LANが本製品の近くで稼働している環境で、本製品の[IEEE802.11n ドラフト(W52)/a(W52)]規格をご使用になると電波干渉の原因になりますので、ご注意ください。

2005年5月以降の無線LAN規格



[IEEE802.11a(W52/W53)]規格の変更される範囲　[IEEE802.11a(W56)]規格の変更される範囲

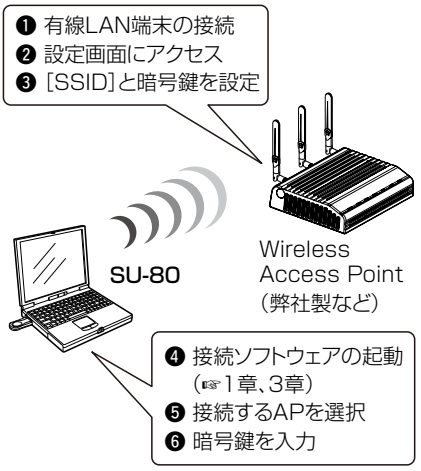
はじめに

JUMPSTART™(WPS機能)について

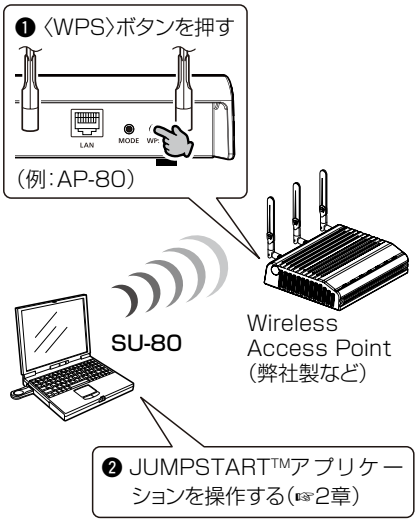
付属のJUMPSTART™アプリケーションを使用すると、無線ネットワーク名(SSID)と暗号化(WPA-PSK/WPA2-PSK)を本製品に自動設定できます。

※自動設定の方法は、WPS機能対応の無線アクセスポイント側に装備された〈WPS〉ボタンを使用する「プッシュボタン(Push Button Configuration)方式」と自動設定する相手のPINコードが必要な「PIN(Personal Identification Number)方式」を選択できます。
WPS機能の設定例については、本書2章をご覧ください。

【WPS機能を使用しない場合】



【WPS機能を使用する場合】



JUMPSTART™を使用するには

◎ WPS機能対応の無線アクセスポイント(弊社製:AP-80)をご用意ください。
◎ 本製品でWPS機能を使用するすべてのパソコンにJUMPSTART™アプリケーションをインストールしてください。(☞別紙:ファーストステップガイド)
◎ パソコンに本製品の設定ユーティリティーがインストールされている場合、[オプション]タブ(☞P42)で、[ユーティリティーを使用する]項目が「いいえ」(出荷時の設定)に設定されていることを確認してください。
「はい」に設定されていると、JUMPSTART™アプリケーションを起動しても注意喚起の画面が表示され、使用できません。

もくじ

はじめに ―――――――――――――――――――――――――― 2
パソコンのスタンバイモードについて …… 2
登録商標について …… 2
本製品の概要について …… 3
通信形態について …… 4
本書の表記について …… 4
無線LAN規格について …… 5
JUMPSTART™(WPS機能)について …… 6

第1章 設定ユーティリティーについて―――――――― 9
1. 起動と終了のしかた …… 10
2. 設定に使用するときは …… 12
3. 無線通信のしかた …… 15
4. 設定画面について …… 16

第2章 JUMPSTART™で自動設定するには ―――――― 45
1.「プッシュボタン方式」を使用するには …… 46
2.「PIN方式」を使用するには …… 50

もくじ

第3章 アクセスポイントと無線通信するには―――― 63

1. ワイヤレスネットワーク接続を使うには …… 64
2. 手動で無線アクセスポイントへの接続設定をする …… 67
3. 自動接続の優先順位について …… 72
4. 「ANY接続拒否」に変更されている場合の接続 …… 73

第4章 パソコン同士で無線通信するには―――― 75

1. パソコンのIPアドレスを設定する …… 76

第5章 ご参考に―――― 79

1. 本製品の取りはずしかた …… 80
2. ドライバーのインストール状態を確認するには …… 81
3. Pingコマンドで接続を確認するには …… 83
4. 困ったときは …… 84

設定ユーティリティー について

第 1 章

この章では、
設定ユーティリティーの使用方法と各機能の説明をしています。

1. 起動と終了のしかた …… 10
タスクバーに表示されるアイコンの意味 …… 11
設定できる暗号化方式について …… 11
2. 設定に使用するときは …… 12
Windows Vistaでご使用の場合 …… 12
Windows XPでご使用の場合 …… 14
3. 無線通信のしかた …… 15
4. 設定画面について …… 16
設定画面の名称と機能について …… 16
設定画面の構成について …… 17
[通信状況]タブ …… 18
■ ステーション …… 18
■ 接続状況 …… 19
[無線ネット表示]タブ …… 20
■ 無線ネットワークの表示について …… 20
■ 各表示項目について …… 21
■ 表示項目を変更するには …… 24
[通信統計]タブ …… 25
[通信設定]タブ …… 27
■ ネットワーク設定 …… 27
■ ローミング …… 29
■ 802.11モード …… 30
■ 通信設定 …… 31
■ スキャンチャンネル …… 33
[セキュリティー]タブ …… 34
[プロファイル]タブ …… 39
■ プロファイル設定ボタン …… 39
■ 各項目について …… 40
[オプション]タブ …… 41
[バージョン情報]タブ …… 43

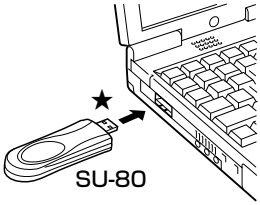
1 設定ユーティリティーについて

1. 起動と終了のしかた

設定ユーティリティーの起動と終了のしかたを説明します。…… （例：Windows Vista）

〈起動のしかた〉

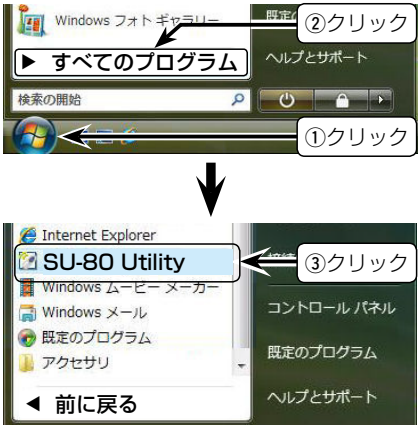
1.SU-80を接続します。



★[USB]ポートの位置は、お使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書などでご確認ください。

※接続する前に設定ユーティリティーを起動したときは、SU-80を接続してから設定ユーティリティーを再起動してください。

2.プログラムメニューから[SU-80 Utility]をクリックします。



3.アイコンの表示を確認します。

※ アイコンによって、通信状態を表示します。表示されるアイコンの意味については、次ページをご覧ください。

4.モニター画面を表示します。

〈ご参考に〉

◎「モニターを表示(M)」を選択できないときは、設定ユーティリティーを一度終了したあと、SU-80を接続しなおしてから、設定ユーティリティーを起動してください。

◎右クリックすると表示されるメニューに「プロファイル(P)」が表示されていない場合は、設定内容をプロファイルに保存していないか、「設定に使用するときは」(☞P12)の設定を変更しているかをご確認ください。

〈終了のしかた〉

タスクバーに表示されるアイコンの意味

	通信中	無線ネットワークに正常に接続された状態 ※電波強度を4段階で表示し、「アドホック」モードのときは、電波強度は「4」のままで変化しません。
	スキャン中	無線通信モードが「インフラストラクチャー」のとき表示されます。本製品と接続するパソコンが、通信できる無線アクセスポイントの無線伝送可能領域をはずれた状態か、無線アクセスポイントを探している状態
	アダプターが見つかりません	本製品がパソコンに接続されていない、または本製品の接続を認識していない状態
	アダプターが正しく動作していません。	本製品が接続されているが、本製品のドライバーが正しくインストールされていないなどで接続を認識していない状態

設定できる暗号化方式について

設定ユーティリティーで、「WEP RC4(64/128/152)」以外の暗号化方式を設定するときは、下記の制限があります。

設定ユーティリティーは、WPA認証方式の暗号化(TKIP、AES)設定や接続に対応していません。

WPA認証方式の暗号化設定の相手と通信する場合は、Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続(☞3章)をご使用ください。

2. 設定に使用するときは

Windows Vistaでご使用の場合

設定ユーティリティーを本製品の設定に使用するときは、下記の手順でWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続機能(☞3章)を無効にしてください。

※WPA認証方式の暗号化(TKIP、AES)設定や接続に使用する場合は、Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続をご使用ください。

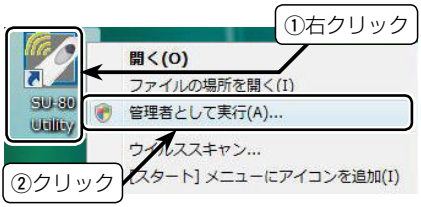
〈設定変更の手順〉

1.設定ユーティリティーを起動している場合は、終了します。

※本書10ページの手順で起動していると、設定を変更できません。

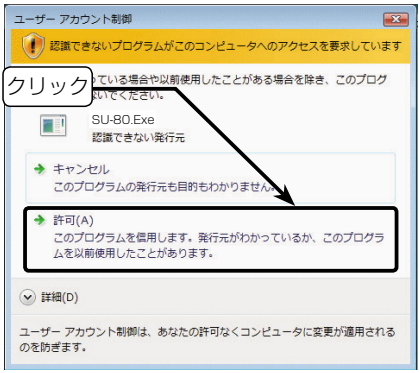
2.設定ユーティリティーのアイコンを右クリックします。

3.[管理者として実行(A)...]をクリックします。



4.[許可(A)]をクリックします。

●設定ユーティリティーが起動します。



5.モニター画面を表示します。

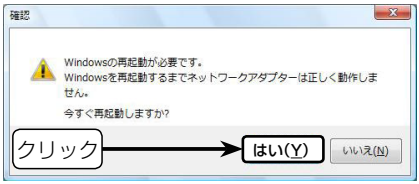
6.[オプション]タブをクリックして、[ユーティリティーを使用する]項目から、「はい」を選択します。

7.〈適用(A)〉をクリックします。

※〈OK〉でも設定を反映できます。

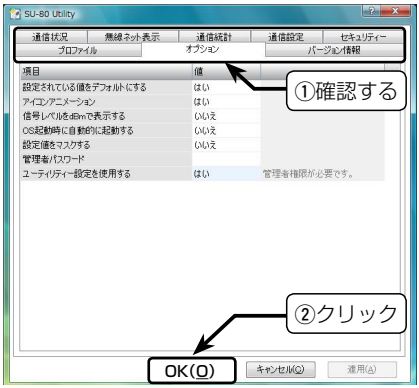
8.〈はい(Y)〉をクリックします。

※再起動することで、正常に動作します。



9.パソコンが再起動後、タブの表示*を確認し、〈OK(O)〉をクリックします。

★[通信設定]タブ、[セキュリティー]タブ、[プロファイル]タブが表示され、Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続機能(☞3章)が無効になります。



2. 設定に使用するときは

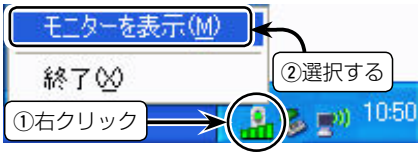
Windows XPでご使用の場合

設定ユーティリティーを本製品の設定に使用するときは、下記の手順でWindows XP標準のワイヤレスネットワーク接続機能(☞3章)を無効にしてください。

※WPA認証方式の暗号化(TKIP、AES)設定や接続に使用する場合は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続をご使用ください。

〈設定変更の手順〉

1.モニター画面を表示します。



「モニターを表示(M)」を選択できないときは、設定ユーティリティーを一度終了したあと、SU-80をパソコンに取り付けてから、起動しなおしてください。

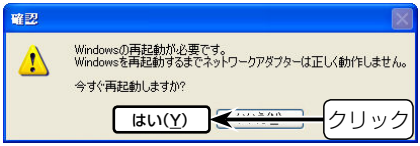
2.[オプション]タブをクリックして、[ユーティリティーを使用する]項目から、「はい」を選択します。

3.〈適用(A)〉をクリックします。

※〈OK〉でも設定を反映できます。

4.〈はい(Y)〉をクリックします。

※再起動することで、正常に動作します。



5.パソコンが再起動後、タブの表示★を確認し、〈OK(O)〉をクリックします。

★[通信設定]タブ、[セキュリティー]タブ、[プロファイル]タブが表示され、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続機能(☞3章)が無効になります。

3. 無線通信のしかた

設定ユーティリティーを使用して無線通信する手順を説明します。 （例：Windows Vista）

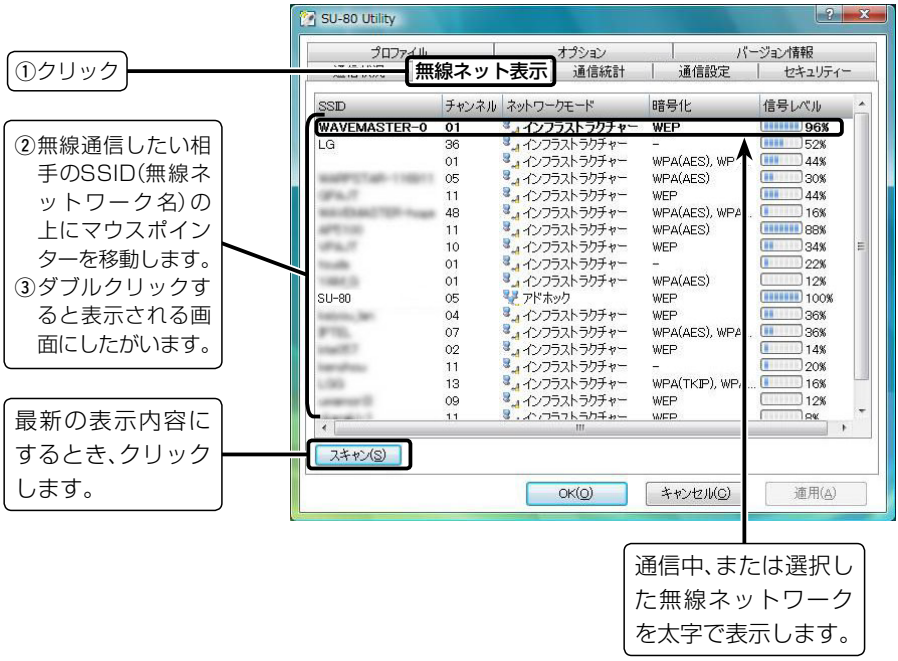
※「設定に使用するときは」(☞P12)の操作で、[ユーティリティーを使用する]項目が「はい」に設定されていることを確認してください。

〈操作の手順〉

下記の手順で操作後、選択した無線ネットワークに暗号化(WEP)が設定されている場合は、[セキュリティー]タブ(☞P34)で暗号化を設定すると、下記で選択した無線ネットワーク名(SSID)の相手と通信できます。

※通信相手が「アドホック」モードの場合は、「パソコンのIPアドレスを設定する」(☞P76)を参考に、固定IPアドレスの設定が必要です。

※各タブについては、「4.設定画面について」(☞P16～P43)をご覧ください。



4. 設定画面について

設定画面の名称と機能について

[設定画面選択]タブ
各設定画面を用途別に分類しています。マウスポインターを各タブのタイトル上に合わせてクリックすると、そのタイトルの設定画面を「設定画面表示エリア」に表示します。

設定画面表示エリア
[設定画面選択]タブで選択したタイトルの設定画面を表示します。

〈OK(O)〉
設定画面で変更したすべての設定内容を有効にします。
※ クリックすると、設定画面を閉じます。

〈キャンセル(C)〉
設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻します。
※ クリックすると、設定画面を閉じます。
※ 〈OK(O)〉や〈適用(A)〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

〈適用(A)〉
設定画面で変更したすべての設定内容を有効にします。

設定画面の構成について

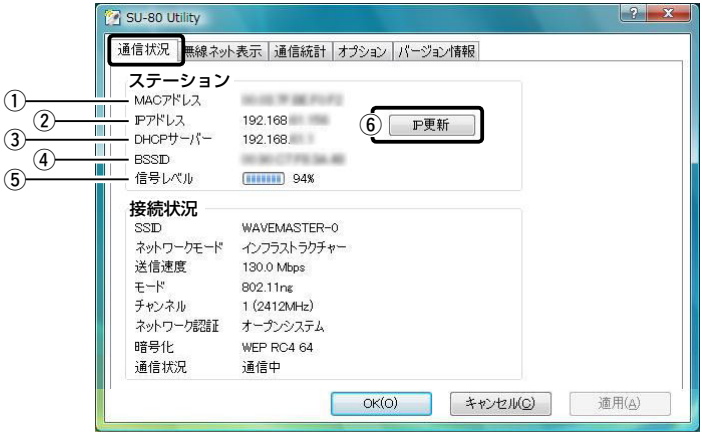
[通信状況]タブ ☞P18	ステーション	
	接続状況	
[無線ネット表示]タブ ☞P20		
[通信統計]タブ ☞P25		
[通信設定]タブ※ ☞P27	ネットワーク設定	·ネットワークモード ·SSID
	ローミング	·スマートローミングを使用する
	802.11モード	·802.11a/b/g/na/ng
	通信設定	·チャンネル ·Rts/Ctsスレッシュホールド ·パワーレベル
	スキャンチャンネル	
[セキュリティー]タブ※ ☞P34	暗号化設定	·認証モード ·暗号化方式 ·キージェネレータ ·キーインデックス
	WEPキー	·16進数入力/ASCII文字入力 ·キー1/キー2/キー3/キー4
[プロファイル]タブ※ ☞P39		·プロファイル名 ·SSID ·ネットワークモード ·暗号化 ·プロファイルパスワード
[オプション]タブ ☞P41		·設定されている値をデフォルトにする ·アイコンアニメーション ·信号レベルをdBmで表示する ·OS起動時に自動的に起動する ·設定値をマスクする ·管理者パスワード ·ユーティリティー設定を使用する
[バージョン情報]タブ ☞P43		

※ [オプション]タブの[ユーティリティー設定を使用する]項目を「はい」にすると、表示されるタブです。

4. 設定画面について

[通信状況]タブ

本製品の通信状況を確認するとき使用します。



■ ステーション

① MACアドレス

本製品のMACアドレスを表示します。
無線アクセスポイント側でMACアドレスフィルタリングが設定されている場合は、ここに表示されるMACアドレスをその無線アクセスポイントに登録することで接続できます。

② IPアドレス

本製品を装着する無線LAN端末のIPアドレスを表示します。
DHCPサーバーからこの無線LAN端末にIPアドレスが割り当てられてない場合は、「空白(表示なし)」になります。

③ DHCPサーバー

本製品が接続するDHCPサーバーのIPアドレスを表示します。
スキャン中や接続する無線アクセスポイントのDHCPサーバー機能が無効なときは、「空白(表示なし)」になります。
※本製品を装着する無線LAN端末のIPアドレスを固定しているときは、「無効」と表示します。

[通信状況]タブ

■ステーション

④ BSSID

本製品と「インフラストラクチャー」モードで通信している無線アクセスポイントのBSSIDを表示します。
スキャン中は、「空白(表示なし)」になります。
※「アドホック」モードでは、ランダムに生成されたIDを表示します。

⑤ 信号レベル

無線ネットワークから受信できる電波の強さを表示します。

⑥ 〈IP更新〉

クリックすると、DHCPサーバーから本製品を装着する無線LAN端末のIPアドレスを再取得します。
※無線LAN端末の「IPアドレスの自動取得」が設定されている場合に有効です。

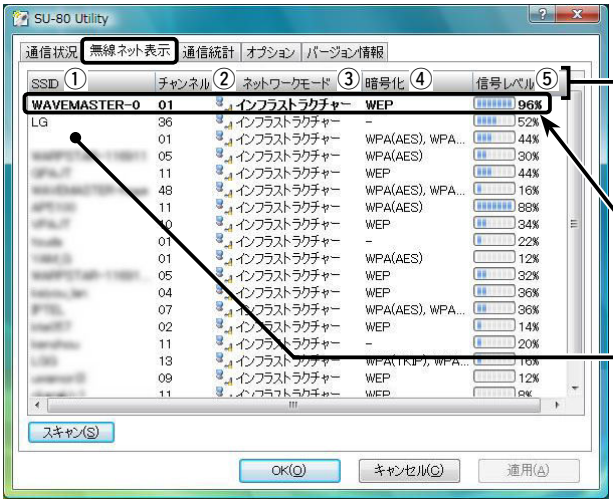
■ 接続状況

現在の設定や通信状態を表示します。
「インフラストラクチャー」モードに設定された本製品で、通信エリア内に接続できる無線アクセスポイントが見当たらない場合は、「スキャン中」と表示されます。
また、無線アクセスポイントが存在している場合でも、MACアドレスフィルタリングや暗号化されているために接続できないときは、「スキャン中」と表示されます。

4. 設定画面について

[無線ネット表示]タブ

自分が使用する無線LAN端末の周辺で通信できる無線ネットワークを表示します。
※各項目の詳細については、本書P21～P23をご覧ください。



表示項目(☞P21)を変更(☞P24)できます。
※出荷時は、① ～⑤の項目を表示します。

本製品と通信している無線ネットワークを太字で表示します。

「ANY接続拒否」の無線アクセスポイントはSSIDを表示しません。

■ 無線ネットワークの表示について

無線伝送可能領域内で通信する無線アクセスポイント、「アドホック」モードで通信する無線LAN端末のネットワーク情報を表示します。

※ 無線アクセスポイントと通信する端末は、表示されません。
※ [無線ネット表示]タブでモニター中は、通信速度が低下することがあります。
※ 表示される無線ネットワークは、[通信設定]タブにある[802.11モード](☞P30)の設定、または[スキャンチャンネル](☞P33)の設定に連動しています。
例えば、[通信設定]タブの[802.11モード]で、「802.11g」だけ有効にした場合は、[IEEE802.11a(W52/W53/W56)]規格で通信する無線ネットワークは表示されません。
※ 〈スキャン(S)〉をクリックすると、表示される内容を更新できます。
※ 出荷時は、[SSID]、[チャンネル]、[ネットワークモード]、[暗号化]、[信号レベル]項目を表示します。
※ 「ANY接続拒否」の無線アクセスポイントは、[SSID]が表示されません。

[無線ネット表示]タブ

■無線ネットワークの表示について

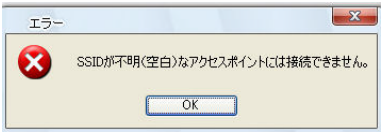
【本製品と通信する無線ネットワークを切り替えるには】

無線ネットワーク(SSID)を選択してダブルクリックします。

なお、「WEP RC4」で暗号化されている場合は、[セキュリティー]タブで、その内容を設定すると、通信できます。

※Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続、およびWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク機能を使用している場合、設定ユーティリティーから別の無線ネットワーク機器への切り替えはできません。

※「ANY接続拒否」(☞P28)の無線LAN機器には接続(無線アクセスポイント/無線LAN端末)できませんので、右図の画面を表示します。



■ 各表示項目について

「表示項目を変更するには」(☞P24)を操作すると、⑥～⑨で説明する項目を表示できます。

① SSID

無線ネットワークに設定された無線ネットワーク名を表示します。

② チャンネル

無線ネットワークが通信に使用しているチャンネルです。

③ ネットワークモード

無線ネットワークが通信に使用している通信モードを表示します。

インフラストラクチャー

「インフラストラクチャー」モードで通信する無線アクセスポイントです。

アドホック

「アドホック」モードで通信する無線LAN端末です。

4. 設定画面について

[無線ネット表示]タブ

■各項目について

④ 暗号化

無線ネットワークに設定された暗号化方式を表示します。

ー	:暗号化されていません。
WEP	:[WEP RC4]暗号化方式が設定されています。
WPA(TKIP)	:[WPA(TKIP)]暗号化方式が設定されています。
WPA2(TKIP)	:[WPA2(TKIP)]暗号化方式が設定されています。
WPA(AES)	:[WPA(AES)]暗号化方式が設定されています。
WPA2(AES)	:[WPA2(AES)]暗号化方式が設定されています。

⑤ 信号レベル

無線ネットワークの電波強度をアイコン(7段階)とパーセンテージで表示します。

※Windowsのタスクバー(☞右図)には、選択した無線ネットワークと通信を開始したとき、電波強度を4段階で表示します。

⑥ BSSID

無線ネットワークをMAC層で識別するためのIDを表示します。

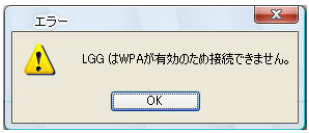
※「アドホック」モードでは、ランダムに生成されたIDを表示します。

⑦ モード

無線ネットワークが通信に使用している無線LAN規格を表示します。

【WPA/WPA2の無線アクセスポイントに接続するには】

無線アクセスポイントに接続するとき、右図を表示された場合は、[オプション]タブの[設定ユーティリティーを使用する]欄(☞P42)を「いいえ」に設定してください。



(表示例:SSIDがLGGの場合)

※「WPA(TKIP)」/「WPA2(TKIP)」、または「WPA(AES)」/「WPA2(AES)」暗号化方式のご使用については、本書35ページ、68ページをご覧ください。

[無線ネット表示]タブ

■各項目について

⑧ 機能

無線ネットワークが対応する拡張機能をアイコンで表示します。

Super AGを使用する（圧縮なし）
Super AG機能を使用して通信する無線アクセスポイントです。
※本製品には、搭載されていません。

Super AGを使用する（圧縮あり）
Super AG機能を使用して、「圧縮あり」で通信する無線アクセスポイントです。
※本製品には、搭載されていません。

XR（Extended Range/拡張範囲）
XR機能が設定された無線アクセスポイントです。
※本製品には、搭載されていません。

WMM（Wi-Fi Multimedia）
WMM機能に対応した無線アクセスポイントです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）
[WEP RC4]暗号化方式を使用して通信する無線ネットワークです。

WPA（Wi-Fi Protected Access）
接続するとき、IEEE802.1X認証が必要な無線ネットワークです。

WPA2（Wi-Fi Protected Access 2）
接続するとき、IEEE802.1X認証が必要な無線ネットワークです。
※「WPA」、または「WPA2」を選択するときは、接続する無線ネットワークの設定にしたがってください。

⑨ 基本レート

無線ネットワークが対応する通信速度です。

4. 設定画面について

[無線ネット表示]タブ

■ 表示項目を変更するには

項目名

[選択メニュー]は、項目名の上にマウスポインターを移動して右クリックします。

スクロールバーの上にマウスポインターを移動してドラックすると、表示範囲を移動できます。

●表示項目選択

表示する項目が変更できます。
項目名を右クリックすると、[選択メニュー]を表示します。
マウスポインターを項目名の上でクリックすると、チェックマークが入り、その項目が[無線ネット表示]タブに表示されます。
※出荷時は、[SSID]、[チャンネル]、[ネットワークモード]、[暗号化]、[信号レベル]項目を表示します。(表示項目を入れ替えると選択メニューの順番も変わります。)

●表示項目の入れ替え

マウスポインターを項目名の上でドラックすると、表示項目の順番が変更できます。
なお、表示項目を変更すると、[選択メニュー]の順番も入れ替わります。

●ソート

各項目に表示される無線ネットワークの情報を並び替え(ソート)できます。
項目名の上にマウスポインターを移動してクリックすると、リストをソートできます。
もう一度クリックすると、逆順でリストをソートできます。

●項目の表示幅

表示する項目の表示幅が変更できます。
マウスポインターを項目名の境界線(|)の上でドラックすると、幅を変更できます。

[通信統計]タブ

通信速度やエラーをデータ送信中に監視するとき使用します。

※説明のため、実際とは表示が異なる場合があります。

スキャン中は、すべての項目が「空白(表示なし)」になります。

■ 診断する項目について

次の項目を1秒ごとに診断して、項目ごとに合計値を表示します。

- **受信フレーム** :受信したパケット数
- **送信フレーム** :送信したパケット数
- **受信ユニキャストフレーム** :特定の1つの送信元から受信したパケット数
- **送信ユニキャストフレーム** :特定の1つの宛先へ送信したパケット数
- **受信ブロードキャストフレーム** :ネットワーク上のすべてのノードに向けたパケットの受信数
- **送信ブロードキャストフレーム** :ネットワーク上のすべてのノードに向けたパケットの送信数
- **受信マルチキャストフレーム** :特定のグループに向けたパケットの受信数

4. 設定画面について

[通信統計]タブ

■診断する項目について

- **送信マルチキャストフレーム** :特定のグループに向けたパケットの送信数
- **受信バイト** :「ユニキャスト」/「ブロードキャスト」/「マルチキャスト」の受信バイト数
- **送信バイト** :「ユニキャスト」/「ブロードキャスト」/「マルチキャスト」の送信バイト数
- **受信ユニキャストバイト** :ユニキャストの受信バイト数
- **送信ユニキャストバイト** :ユニキャストの送信バイト数
- **受信ブロードキャストバイト** :ブロードキャストの受信バイト数
- **送信ブロードキャストバイト** :ブロードキャストの送信バイト数
- **受信マルチキャストバイト** :マルチキャストの受信バイト数
- **送信マルチキャストバイト** :マルチキャストの送信バイト数
- **受信レート** :受信時のレート(速度)
- **送信レート** :送信時のレート(速度)
- **信号レベル** :パケット受信時の信号レベル

[通信設定]タブ

本製品の無線通信機能を設定するとき使用します。

■ ネットワーク設定

● **ネットワークモード**　（出荷時の設定:インフラストラクチャー）

本製品の通信形態を設定します。

本書4ページの「通信形態について」に記載の図と併せてご覧ください。

「インフラストラクチャー」:無線LAN端末が、無線アクセスポイントを介してネットワーク(無線/有線LAN)に接続する形態

「アドホック」:無線LAN端末どうしが通信して、ネットワークを構成する形態

4. 設定画面について

[通信設定]タブ

■ネットワーク設定

● **SSID** （出荷時の設定：空白）

グループとして識別するための無線ネットワーク名を設定します。
優先的に接続したい無線LAN機器の[SSID]を、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力します。
本製品と異なる[SSID]の無線アクセスポイント、および「アドホック」モードで通信する無線LAN端末とは通信できません。
[SSID]を出荷時の設定（空白）で使用したときは、「ANY」モード（アクセスポイント自動検索接続機能）で動作して、通信環境の良い無線アクセスポイントへ自動的に接続されます。
※[SSID]を「ANY」と入力しても、「ANY」モードにはなりません。

【ANYモードのときは】

本製品が「ANY」モードの場合は、「ANY接続拒否」を設定している無線アクセスポイントに通信を切り替え（☞P21）ようとすると、右図が表示されて接続できません。

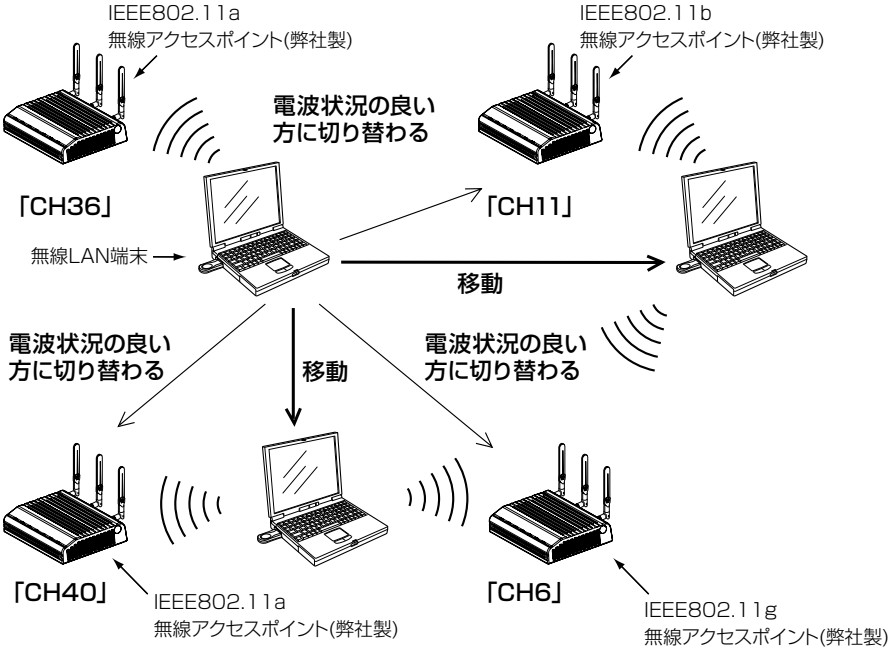
[通信設定]タブ

■ ローミング

「ローミング」とは、本製品を装着する端末を移動させても、自動的に電波状況のよい無線アクセスポイントに切り替えながら通信することです。（下図参照）

※[SSID]や暗号化などセキュリティーは、すべて同じ設定にしてください。

※下図は、「インフラストラクチャー」モードでの動作例です。



● **スマートローミング**　（出荷時の設定:☐ スマートローミングを使用する）

別の無線ネットワークへの切り替えをスムーズにする機能です。

設定したレベルに応じて、電波状況の良い無線アクセスポイント、または「アドホック」モードで通信する無線LAN端末に接続します。

レベルを「最大」側に設定すると、ローミングしやすくなります。

レベルを「最小」側に設定すると、ローミングしにくくなります。

4. 設定画面について

[通信設定]タブ

■ 802.11モード

本製品で使用する無線LAN規格を設定します。
チェックボックスをクリックして、チェックマークを入れると有効になります。
すべてのモードを無効にできません。
各無線LAN規格については、本書5ページをご覧ください。

●「インフラストラクチャー」モードを選択しているとき

（出荷時の設定：☑ 802.11a(5GHz 54Mbps)
☑ 802.11b(2.4GHz 11Mbps)
☑ 802.11g(2.4GHz 54Mbps)
☑ 802.11na(5GHz 130Mbps)
☑ 802.11ng(2.4GHz 130Mbps)
☑ 802.11na(5GHz 300Mbps)
☑ 802.11ng(2.4GHz 300Mbps)）

※[802.11a(5GHz 54Mbps)]を無効にしたとき
[802.11na(5GHz 130Mbps)]と[802.11na(5GHz 300Mbps)]が同時に有効になります。

※[802.11b(2.4GHz 11Mbps)]を無効にしたとき
[802.11g(2.4GHz 54Mbps)]、[802.11ng(2.4GHz，130Mbps)]、[802.11ng(2.4GHz 300Mbps)]が同時に無効になります。

※[802.11g(2.4GHz 54Mbps)]を無効にしたとき
[802.11ng(2.4GHz 130Mbps)]と[802.11ng(2.4GHz 300Mbps)]が同時に無効になります。

※[802.11na(5GHz 130Mbps)]を無効にしたとき
[802.11na(5GHz 300Mbps)]も併せて無効になります。

※[802.11ng(2.4GHz 130Mbps)]を無効にしたとき
[802.11ng(2.4GHz 300Mbps)]も併せて無効になります。

※802.11na(5GHz 300Mbps)、802.11ng(2.4GHz 300Mbps)を使用する場合、「ショートガードインターバル」を搭載しない、または「無効」に設定された無線アクセスポイントとの最大通信速度は、270Mbps(理論値)になります。
AP-80(弊社製)には、搭載されています。

[通信設定]タブ

■ 802.11モード

●「アドホック」モードを選択しているとき

（出荷時の設定：☑ 802.11a(5GHz 54Mbps)）

※[802.11a(5GHz 54Mbps)]、[802.11b(2.4GHz 11Mbps)]、[802.11g(2.4GHz 54Mbps)]の中から選択できます。

※[802.11b(2.4GHz 11Mbps)]と[802.11g(2.4GHz 54Mbps)]は、[802.11a(5GHz 54Mbps)]と併用できません。

※パソコン内蔵型の無線LAN(Intel社製の無線LAN)端末とは、「アドホック」モードにて接続できないことがありますのでご注意ください。

■ 通信設定

● チャンネル

「インフラストラクチャー」モードを選択しているとき

無線アクセスポイントに設定されたチャンネルで通信しますので、本機ではチャンネル設定できません。

「アドホック」モードを選択しているとき

相手からの接続要求に対して、本製品で設定したチャンネルで通信を開始します。
また、自分から接続要求をするときは、相手のチャンネルに自動設定されます。

（出荷時の設定：自動）

[802.11a(5GHz 54Mbps)]選択時は、「自動/CH36/CH40/CH44/CH48」から選択できます。

[802.11b(2.4GHz 11Mbps)]を選択、または[802.11b(2.4GHz 11Mbps)]と[802.11g(2.4GHz 54Mbps)]を選択しているときは、「自動/CH01～CH13」の中から選択します。

※「アドホック」モードでは、[802.11na(5GHz 130Mbps)]、[IEEE802.11ng(2.4GHz 130Mbps)]、[802.11na(5GHz 300Mbps)]、[IEEE802.11ng(2.4GHz 300Mbps)]規格では、使用できません。

4. 設定画面について

[通信設定]タブ

■ 通信設定

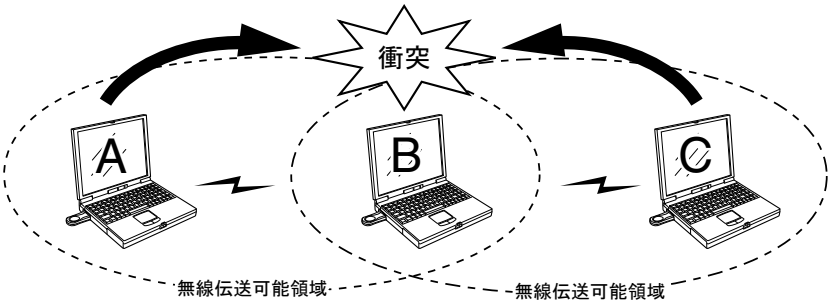
● **Rts/Ctsスレッシュホールド**　（出荷時の設定：なし）

互いの通信状態を打診・交渉（ネゴシエーション）するために送るパケットのデータサイズを、「500バイト」、または「1000バイト」から選択します。

Rts/Cts（Request to send/Clear to send）スレッシュホールドを設定すると、「隠れ端末」の影響による通信速度の低下を防止できます。

【隠れ端末とは】

下図のように、それぞれが無線LAN端末[B]と通信できても、互いが直接通信できない無線LAN端末[A]-[C]同士（[A]に対して[C]、[C]に対して[A]）のことを隠れ端末と呼びます。



通信の衝突を防止するには、無線LAN端末[A]から送信要求（Rts）信号を受信した無線LAN端末[B]が、無線伝送可能領域内にある無線LAN端末[A]および[C]に送信可能（Cts）信号を送り返すことで、Rts信号を送信していない無線LAN端末[C]に無線LAN端末[B]が隠れ端末と通信中であることを認識させます。

これにより、Rts信号を送信していない無線LAN端末[C]は、無線LAN端末[B]から受信完了通知（ACK）を受信するまで無線LAN端末[B]へのアクセスを自制して、通信の衝突を防止できます。

[通信設定]タブ

■ 通信設定

● **パワーレベル** （出荷時の設定:高）

本製品の送信出力を3段階(高/中/低)に調整できる機能です。
本製品の最大伝送距離は、パワーレベルが「高」(出荷時の設定)の場合です。
パワーレベルを低くすると、伝送距離は短くなります。

【パワーレベルを低くする目的について】

◎本製品から送信される電波が広範囲に届くのを軽減したいとき
◎通信エリアを制限してセキュリティーを高めたいとき
◎比較的狭いエリアに複数台のビル間通信機器が設置された環境で、近くの無線LAN機器との電波干渉をなくして、通信速度の低下などを軽減したいとき

■ スキャンチャンネル

スキャンするチャンネルを選択できます。 （出荷時の設定:すべて）
「すべて」を設定すると、スキャンできるすべてのチャンネルが対象になります。
チャンネルを手動で指定するときに、設定できるチャンネル数は最大4個までです。
指定したチャンネルだけをスキャンして接続できますので、接続されるまでのスキャン時間を短縮できます。
1個のチャンネルだけをスキャンしたい場合は、1番上のボックスで指定して、ほかのボックスを「なし」に設定します。
※選択できるチャンネルは、[802.11モード(無線LAN規格)](☞P30)の設定に連動して変化します。
※指定したチャンネル以外の無線アクセスポイントには接続できません。
※指定したチャンネル以外の無線アクセスポイントは、[通信ネット表示]タブ(☞P20)に表示しません。
※「アドホック」モードでは使用できません。

4. 設定画面について

[セキュリティー]タブ

WEP RC4(64/128/152)の暗号化を設定して通信するとき使用します。
※TKIP/AESの暗号化設定には対応していません。

■ 暗号化設定

① 認証モード (出荷時の設定:オープンシステム・共有キー)

暗号化を使用する無線LANからのアクセスに対する認証形式を設定します。
※通信相手と認証方式が異なると通信できません。

「オープンシステム」 :無線LANのアクセスに対して認証しません。
「共有キー」 :無線LANのアクセスに対して通信相手と同じ暗号鍵(キー)かどうかを認証します。
「オープンシステム・共有キー」 :無線LANのアクセスに対して、「オープンシステム」と「共有キー」を自動判別しますので、通信相手間で暗号鍵(キー)が同じであれば通信できます。

[セキュリティー]タブ

■ 暗号化設定

② **暗号化方式** （出荷時の設定：なし）

暗号化方式と鍵(キー)のビット数を設定します。
[WEP RC4]は、64/128/152ビットの中から選択できます。
※暗号化方式とビット数が通信相手と異なる場合は通信できません。
※設定ユーティリティーでは、WPA、およびWPA2の暗号化認証によるTKIP/AESの暗号化設定には対応していません。

WEP RC4：一般に無線LANで使用されているWEPセキュリティーと呼ばれる暗号化方式で、RC4(Rivest's Cipher 4)アルゴリズムをベースに構成されています。
暗号化するデータのブロック長が8ビットで、暗号鍵(キー)の長さ(64/128/152ビット)を選択できますが、上位24ビットは鍵をランダムに発生させています。
任意に設定できる暗号鍵(キー)の長さは、40/104/128ビットのいずれかになります。

【暗号化方式と入力モードについて】
[暗号化方式]の設定によって、入力する暗号鍵(キー)の文字数や桁数が異なります。

ネットワーク認証	入力モード / 暗号化方式	16進数(HEX)	ASCII文字
オープンシステム/共有キー	WEP RC4 64(40)ビット	10桁	5文字(半角)
	WEP RC4 128(104)ビット	26桁	13文字(半角)
	WEP RC4 152(128)ビット	32桁	16文字(半角)

※入力できる桁数および文字数は、( )内のビット数に対する値です。

【WPA/WPA2暗号化認証をWindows XP/Windows Vistaでご使用になるには】
ご使用のパソコンが対応していることを確認し、[オプション]タブの[ユーティリティーを使用する]欄(☞P42)を「いいえ」に設定してください。
また、下記のService Pack(サービスパック)が適用されたOSをご使用ください。
◎Windows Vista(Service Pack1)
◎Windows XP(Service Pack3)

4. 設定画面について

[セキュリティー]タブ

■ 暗号化設定

③ キージェネレーター

暗号化および復号に使う鍵(キー)を生成するための文字列を入力します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号を半角32文字以内で入力します。

※[キージェネレーター]から生成される鍵(キー)は、弊社製無線LAN機器の[キージェネレーター]から生成される鍵(キー)とだけ互換性があります。

※[キージェネレーター]から生成された鍵(キー)は、[WEPキー]の[値]テキストボックスに表示されます。

※「ASCII文字入力」が設定されているときは、入力できません。

※通信の対象となる相手間で、生成された鍵(キー)が同じ場合だけ通信できます。

④ キーインデックス (出荷時の設定:1)

暗号化に使用するキー番号(1～4)を選択します。
選択したキー番号のテキストボックスに入力された内容が暗号鍵として使用されます。

■ **WEPキー**

⑤ 16進数入力/ASCII文字入力 (出荷時の設定:16進数入力)

暗号鍵(キー)の入力モードを選択します。
入力内容を〈適用(A)〉で登録したあとは、「16進数入力」と「ASCII文字入力」を切り替えると、選択した入力モードに対応する鍵(キー)に変換されることを確認できます。
なお、[ASCII文字→16進数変換表](☞P37)に対応しない文字を含む場合は、表示されないことがあります。

⑥ キー1～キー4

[キージェネレーター]に入力した文字列から生成された鍵(キー)を表示します。
また、設定した入力モードで、鍵(キー)をこのテキストボックスに直接入力できます。

※直接入力する場合、「16進数」、または「ASCII文字」を入力前に設定してください。

※通信の対象となる相手間で、すべてのテキストボックスに同じ鍵(キー)が設定されていると通信できます。
相手側にキーインデックスの設定がない場合は、キー1のテキストボックスに相手と同じ鍵(キー)を設定してください。

[セキュリティー]タブ

■ WEPキー

【ASCII文字→16進数変換表】

相手が指定する[入力モード]で暗号鍵(キー)を設定できない場合は、下記の変換表を参考に指示された暗号鍵(キー)に対応する記号や英数字で入力してください。

[例]16進数入力で「4153434949」(10桁)を設定している場合、ASCII文字では、「ASCII」(5文字)になります。

ASCII文字		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
16進数		21	22	23	24	25	26	27	28	29	2a	2b?	2c	2d	2e?	2f
ASCII文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
16進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3a	3b	3c	3d	3e	3f
ASCII文字	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
16進数	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4a	4b	4c	4d	4e	4f
ASCII文字	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
16進数	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5a	5b	5c	5d	5e	5f
ASCII文字	`	a	b	c	d	e	f	g	h	I	j	k	l	m	n	o
16進数	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6a	6b	6c	6d	6e	6f
ASCII文字	P	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
16進数	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7a	7b	7c	7d	7e	

4. 設定画面について

[セキュリティー]タブ

■ WEPキー

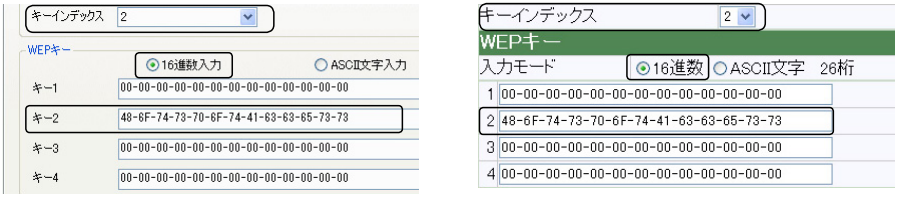
【キーインデックスと暗号鍵(キー)の設定例】

「WEP RC4 128ビット」の暗号化方式を例に、暗号鍵(キー)を16進数(26桁)で直接入力する場合を説明します。

[例] キーインデックス「2」と「3」に、「48-6f-74-73-70-6f-74-41-63-63-65-73-73」と「57-41-56-45-4d-41-53-54-45-52-4c-41-4e」を下記のように入力します。

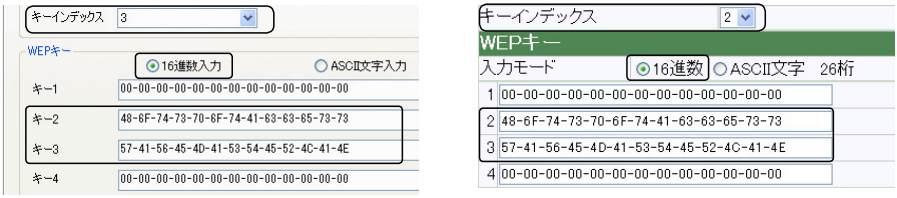
◎キーインデックス「2」のWEPキー(値)が同じなので通信できます。

SU-80側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント側



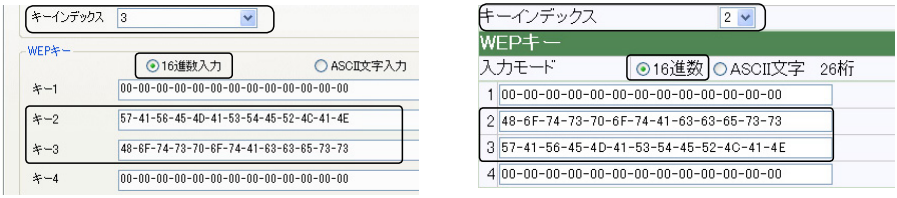
◎キーインデックス「2」と「3」のWEPキー(値)が同じなので通信できます。

SU-80側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント側



◎キーインデックス「2」と「3」のWEPキー(値)が異なるので通信できません。

SU-80側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント側



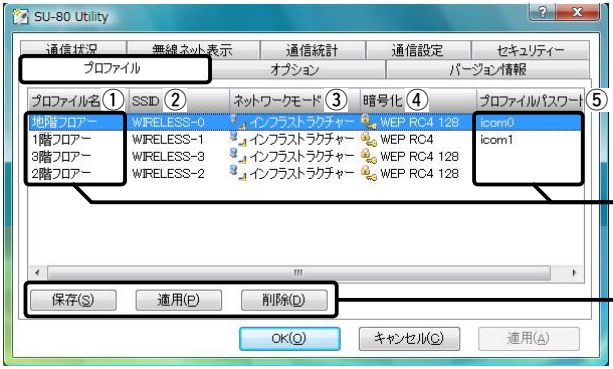
※上記の説明では、AP-56Wの設定画面を弊社製無線アクセスポイント側の例として使用しています。
※設定については、ご使用の無線アクセスポイントの取扱説明書と併せてご覧ください。

[プロファイル]タブ

[通信設定]タブと[セキュリティー]タブの設定内容を、最大16件までプロファイルとして無線ネットワーク名(SSID)ごとに一覧表示し、設定の保存や書き込みができます。

※説明のため、一部、実際とは表示が異なる場合があります。

※Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続ように自動接続の優先順位は登録できません。



[プロファイル名]と[プロファイルパスワード]は、クリックすると、編集できます。

プロファイル設定ボタン

■ プロファイル設定ボタン

〈保存〉 :[通信設定]タブと[セキュリティー]タブに設定されている内容を適用して、プロファイルとして保存します。

※プロファイルとして保存されている[SSID]と同じ無線ネットワーク名の場合は、そのプロファイルの内容に上書きされます。

〈適用〉 :リストに表示されたプロファイルを選択して、このボタンをクリックすると、そのプロファイルに設定された内容を、[通信設定]タブと[セキュリティー]タブに読み込んで適用します。

〈削除〉 :リストに表示されたプロファイルを選択して、このボタンをクリックすると、そのプロファイルを削除します。

4. 設定画面について

[プロファイル]タブ

■ 各項目について

① プロファイル名

任意の名称を、全角16文字(または半角32文字)以内で、保存したプロファイルごとに設定できます。

選択したプロファイルをクリックすると、設定できます。

※[通信設定]タブと[セキュリティー]タブに設定されている内容を適用して、プロファイルとして保存したときは、自動的に無線ネットワーク名(SSID)になります。

② SSID

[通信設定]タブ(☞P27)で設定した無線ネットワーク名を表示します。

※「空白」のときは、「ANY」モードに設定されています。

③ ネットワークモード

[通信設定]タブ(☞P27)で設定した通信モードを表示します。

④ 暗号化

[セキュリティー]タブ(☞P34)で設定した暗号化方式を表示します。

⑤ プロファイルパスワード

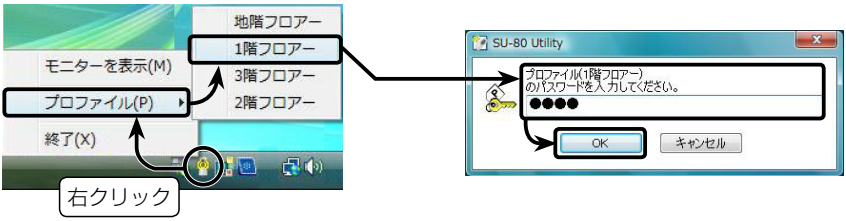
プロファイルの使用を制限するためのパスワードを、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字31文字以内で、保存したプロファイルごとに設定できます。

選択したプロファイルをクリックすると、設定できます。

※設定画面を開いているとき、ポップアップメニュー(☞下図)からプロファイルは選択できません。

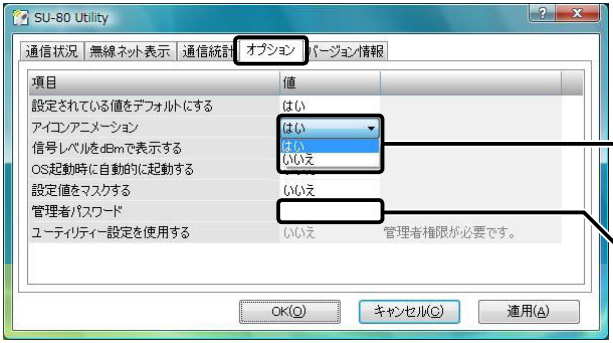
※パスワードが設定されていると、ポップアップメニューからプロファイルを選択するときに、パスワードの入力画面を表示します。(☞下図)

なお、[オプション]タブの「管理者パスワード」(☞P42)を設定していないときは、無効な機能です。



[オプション]タブ

設定ユーティリティーについての設定です。



値の欄をクリックすると、選択項目を表示します。

クリックすると、入力できる状態になります。

■ 各項目について

● 設定されている値をデフォルトにする （出荷時の設定：はい）

通常は、出荷時の設定で使用します。
設定を一時的に変更したい場合などに、「いいえ（無効）」に設定しておくと、パソコンを再起動したときに設定ユーティリティーで変更する前の設定値に戻ります。

● アイコンアニメーション （出荷時の設定：はい）

タスクバーのアイコンに 《》？✕ が表示されたとき、その部分を動画で表示します。

● 信号レベルをdBmで表示する （出荷時の設定：いいえ）

「いいえ」（出荷時の設定）に設定すると、設定画面中に表示される信号レベルの単位は「%」になります。

4. 設定画面について

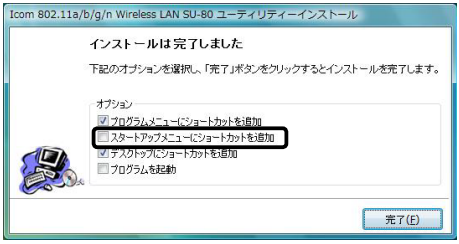
[オプション]タブ

■ 各項目について

● **OS起動時に自動的に起動する**　（出荷時の設定:いいえ）

パソコンと同時に設定ユーティリティーも起動するとき設定します。

※設定ユーティリティーの新規インストール画面(☞右図)で、「スタートアップメニューにショートカットを追加」のチェックボックスを選択している場合は、インストールしたときから「OS起動時に自動的に起動する」は、「はい(有効)」に設定されています。



● **設定値をマスクする**　（出荷時の設定:いいえ）

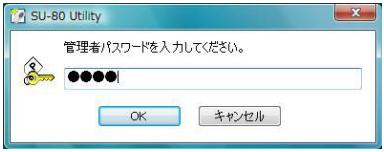
[キージェネレータ]と[WEPキー]のテキストボックスに入力する内容をマスク(「＊(アスタリスク)」で表示)します。

● **管理者パスワード**　（出荷時の設定:空白(設定なし)）

設定画面の使用を制限するために、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字31文字以内で、管理者用パスワードを設定できます。

設定すると、設定ユーティリティーの画面を開くときに、パスワードの入力画面(☞右図)を表示します。

※管理者パスワードが不明なときは、設定ユーティリティーの画面を開くことができなくなりますのでご注意ください。



※管理者パスワードが有効なときは、プロファイルの使用を制限(☞P40)できます。

● **設定ユーティリティーを使用する**　（出荷時の設定:いいえ）

設定ユーティリティーを本製品の設定に使用するとき変更する項目です。

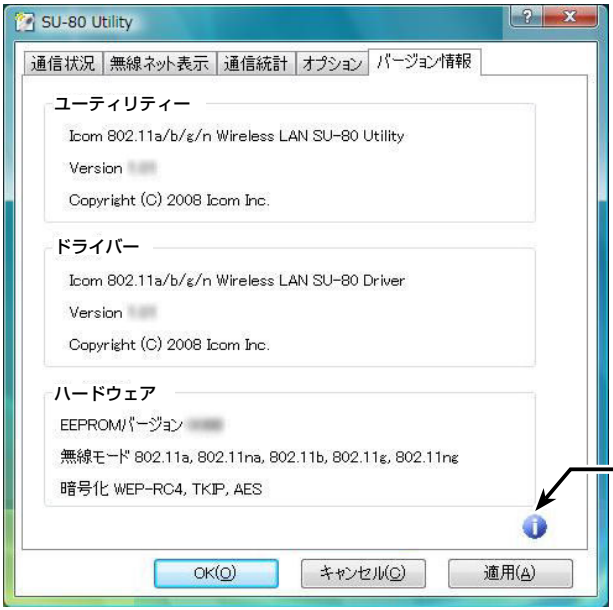
「はい」に設定すると、Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続機能を停止させることで、本製品を設定ユーティリティーを使用して設定できます。

※JUMPSTART™を設定に使用する場合は、出荷時の設定でご使用ください。

※ご使用のOSによって、設定変更の操作が異なりますので、「設定に使用するときは」(☞P12)をご覧ください。

[バージョン情報]タブ

本製品の設定ユーティリティーやドライバーのバージョンを表示します。



弊社ホームページへのリンクです。

■ ユーティリティー

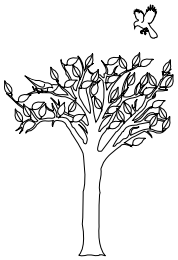
設定ユーティリティーのバージョン情報を表示します。

■ ドライバー

ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ ハードウェア

ハードウェアのバージョン情報を表示します。



JUMPSTART™で自動設定するには

第2章

この章では、
本製品に付属のJUMPSTART™アプリケーション(☞P6)を使用して、WPS機能対応の無線アクセスポイントと本製品を装着したパソコンのSSIDと暗号化(WPA-PSK/WPA2-PSK)を自動設定する操作について説明します。

※設定ユーティリティーをご使用になる場合は、「設定に使用するときは」(☞P12)をご覧ください。
ワイヤレスネットワーク接続をご使用の場合は、「アクセスポイントと無線通信するには」(☞3章)をご覧ください。

1.「プッシュボタン方式」を使用するには …… 46
操作のしかた …… 46
2.「PIN方式」を使用するには …… 50
本製品のPINコードを自動設定に使用する場合 …… 50
無線アクセスポイントのPINコードを自動設定に使用する場合 …… 54
自動設定したいSSIDと共有鍵(キー)を指定する場合 …… 58

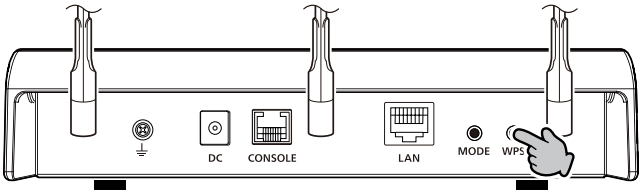
2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

1.「プッシュボタン方式」を使用するには

無線アクセスポイントで自動生成されたSSIDと共有鍵(キー)の内容を本製品に自動設定します。
※無線アクセスポイントは、AP-80(弊社製)での使用例を説明します。

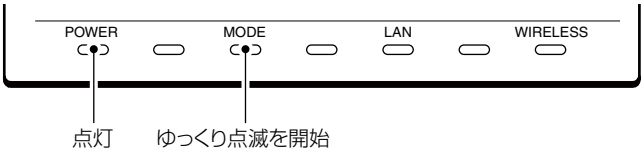
操作のしかた

1 AP-80の〈WPS〉ボタンを押します。
※指で直接押せないときは、ペン先などを利用してください。
※AP-80のWPS機能は、あらかじめ、「有効」に設定されているものとします。



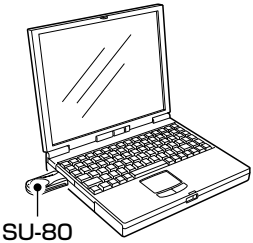
(例：AP-80)

2 [MODE]ランプが非常にゆっくりと点滅(緑色)していることを確認します。
※本製品の操作は、AP-80の操作から2分以内に開始してください。
AP-80の場合、設定に失敗(2分以上経過)すると、[MODE]ランプの点滅が赤色(20秒後消灯)に切り替わりますので、はじめから操作をやりなおしてください。
※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



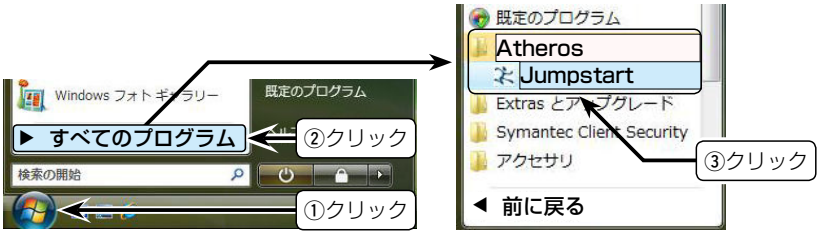
3 JUMPSTART™アプリケーションがインストールされたパソコンに本製品を装着します。
※インストールされていると、下図のような常駐を示すアイコンがタスクバーに表示します。

JUMPSTART™のアイコン

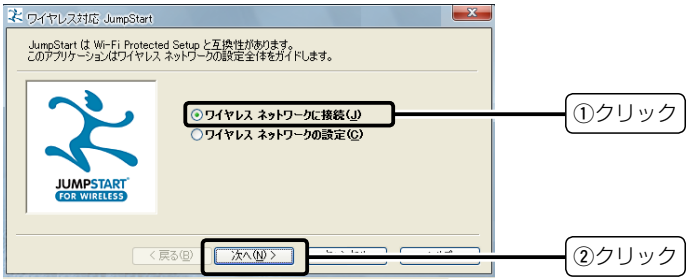


4 JUMPSTART™アプリケーションを起動します。

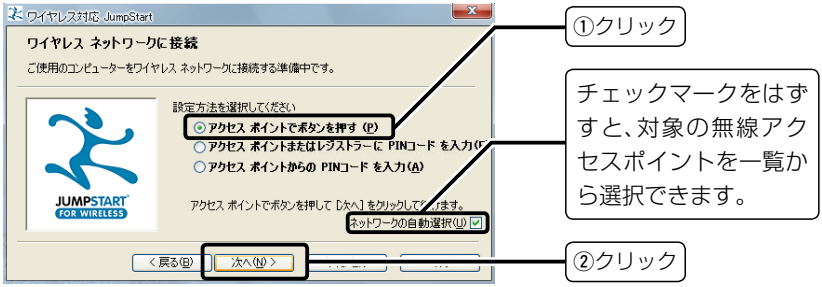
※JUMPSTART™のアイコン(☞手順3)上で、右クリックの操作をしても起動できます。



5 「ワイヤレスネットワークに接続(J)」、〈次へ(N)>>〉の順にクリックします。



6 「アクセスポイントでボタンを押す(P)」、〈次へ(N)>>〉の順にクリックします。

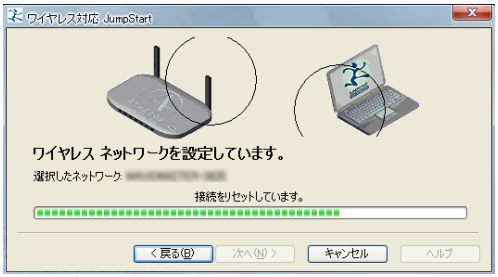


2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

1.「プッシュボタン方式」を使用するには

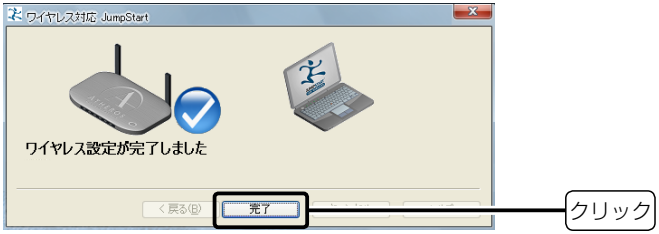
操作のしかた

7 自動設定を開始すると、下記の画面を表示します。
次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。



※数分経過しても画面が変化しない場合は、「ワイヤレス設定を失敗しました」と表示後に、はじめから操作してください。

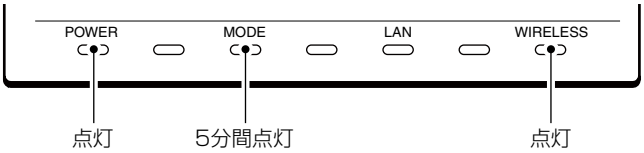
8 下記の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。



※「ワイヤレス設定が完了しました」と表示された下に、上記以外の内容を表示する場合は、自動設定に失敗していますので、はじめからやりなおしてください。

9 AP-80の[MODE]ランプと[WIRELESS]ランプが点灯します。

※5分後、[MODE]ランプは、消灯します。
※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



【2台以上の無線LAN端末を自動設定するには】

手順1.から操作を繰り返し返すと、最初の自動設定で無線アクセスポイントと無線LAN端末に設定された内容が、2台目以降の無線LAN端末にも自動設定されます。

2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

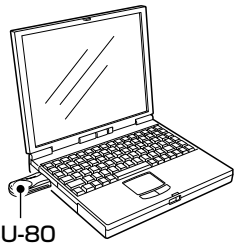
2.「PIN方式」を使用するには

本製品のPINコードを自動設定に使用する場合

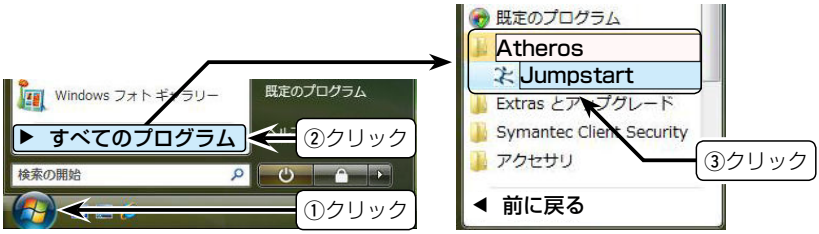
本製品のPINコードを無線アクセスポイントの設定画面に入力することで、無線アクセスポイントで自動生成されたSSIDと共有鍵(キー)の内容を本製品に自動設定します。
※無線アクセスポイントは、AP-80(弊社製)での使用例を説明します。

1 JUMPSTART™アプリケーションがインストールされたパソコンに本製品を装着します。
※インストールされていると、下図のような常駐を示すアイコンがタスクバーに表示します。

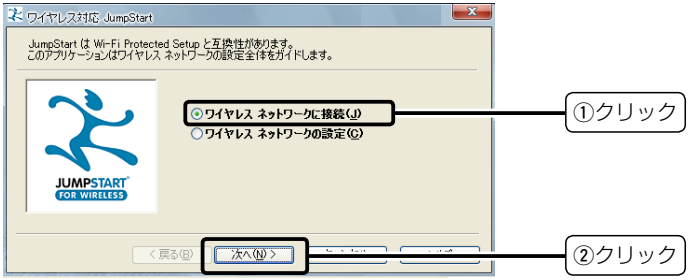
JUMPSTART™のアイコン



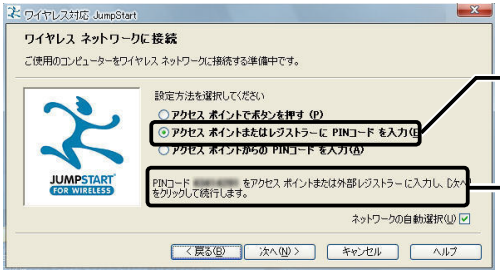
2 JUMPSTART™アプリケーションを起動します。
※JUMPSTART™のアイコン(☞手順1.)上で、右クリックの操作をしても起動できます。



3 「ワイヤレスネットワークに接続(J)」、〈次へ(N)>>〉の順にクリックします。



4 「アクセスポイントまたはレジストラーにPINコードを入力(E)」をクリックします。
●本製品の「PINコード」が表示されます。
※JUMPSTART™アプリケーションは、手順6.まで下記の状態にしておきます。



5 AP-80の設定画面にアクセスし、上記画面で表示された本製品の「PINコード」を入力して、〈開始〉をクリックします。
※ AP-80のWPS機能は、あらかじめ、「有効」に設定されているものとします。

2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

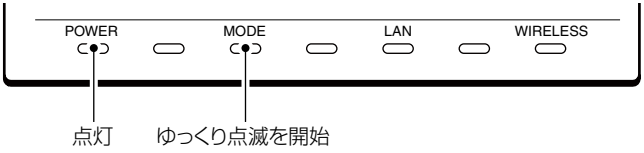
2.「PIN方式」を使用するには

本製品のPINコードを自動設定に使用する場合

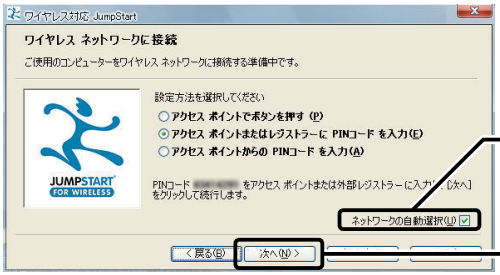
6 [MODE]ランプが非常にゆっくりと点滅(緑色)していることを確認します。

※本製品の操作は、AP-80の操作から2分以内に開始してください。
AP-80の場合、設定に失敗(2分以上経過)すると、[MODE]ランプの点滅が赤色(20秒後消灯)に切り替わりますので、はじめから操作をやりなおしてください。

※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



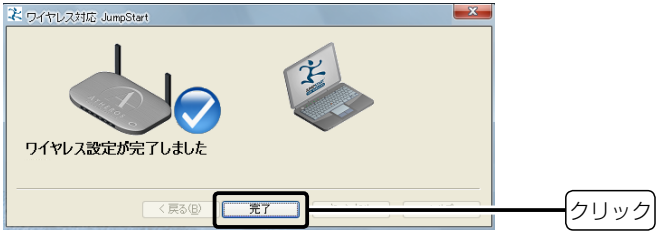
7 〈次へ(N)>〉をクリックします。



8 自動設定を開始すると、下記の画面を表示します。
次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。

※数分経過しても画面が変化しない場合は、「ワイヤレス設定を失敗しました」と表示後に、はじめから操作してください。

9 下記の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。

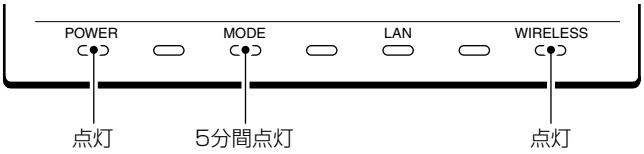


※「ワイヤレス設定が完了しました」と表示された下に、上記以外の内容を表示する場合は、自動設定に失敗していますので、はじめからやりなおしてください。

10 AP-80の[MODE]ランプと[WIRELESS]ランプが点灯します。

※5分後、[MODE]ランプは、消灯します。

※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



【2台以上の無線LAN端末を自動設定するには】

手順1.から操作を繰り返し返すと、最初の自動設定で無線アクセスポイントと無線LAN端末に設定された内容が、2台目以降の無線LAN端末にも自動設定されます。

2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

2.「PIN方式」を使用するには

無線アクセスポイントのPINコードを自動設定に使用する場合

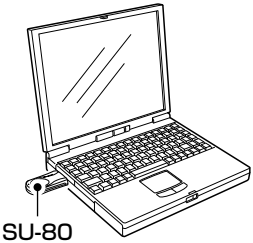
無線アクセスポイントのPINコードをJUMPSTART™の設定画面に入力することで、本製品で自動生成されたSSIDと共有鍵(キー)の内容を無線アクセスポイントに自動設定します。

※無線アクセスポイントは、AP-80(弊社製)での使用例を説明します。
※稼動中の無線アクセスポイントに対して使用するときは、ほかの無線LAN端末との通信に影響がないことを確認してからご使用ください。

1 JUMPSTART™アプリケーションがインストールされたパソコンに本製品を装着します。

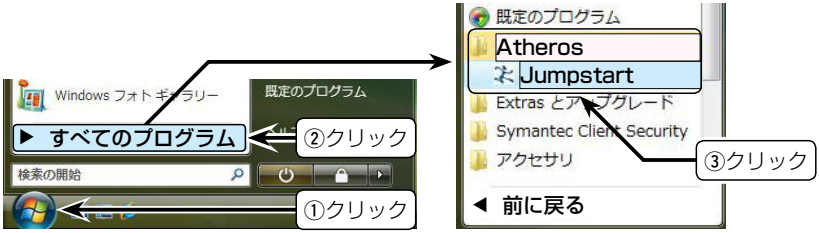
※インストールされていると、下図のような常駐を示すアイコンがタスクバーに表示します。

JUMPSTART™のアイコン

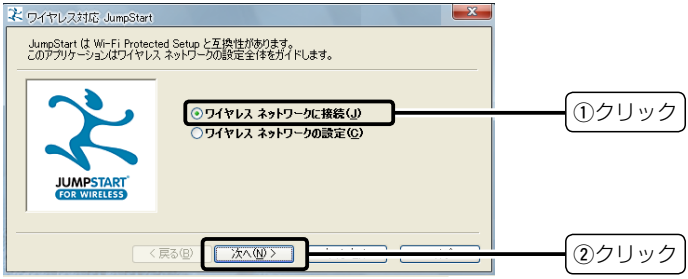


2 JUMPSTART™アプリケーションを起動します。

※JUMPSTART™のアイコン(☞手順1.)上で、右クリックの操作をしても起動できます。



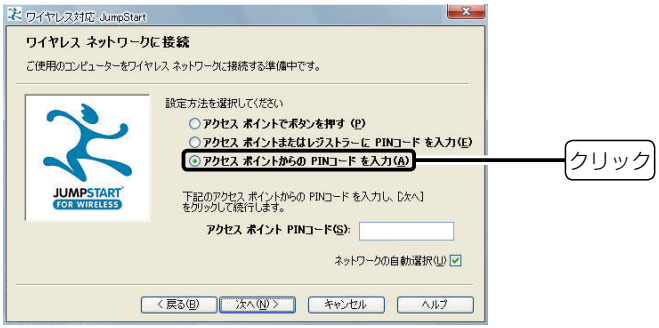
3 「ワイヤレスネットワークに接続(J)」、〈次へ(N)>>〉の順にクリックします。



4 「アクセスポイントからのPINコードを入力(A)」をクリックします。

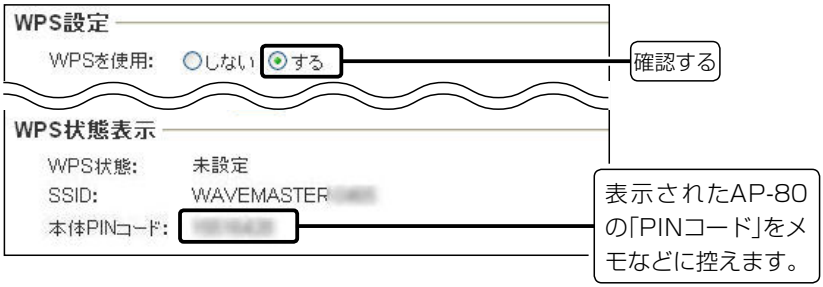
●無線アクセスポイントの「PINコード」を入力するテキストボックスが表示されます。

※無線アクセスポイントの「PINコード」を入力(☞手順6.)するまで、JUMPSTART™アプリケーションは下記の状態にしておきます。



5 AP-80の設定画面にアクセスし、下記の画面で本製品に入力する「PINコード」を確認します。

※ AP-80のWPS機能は、あらかじめ、「有効」に設定されているものとします。

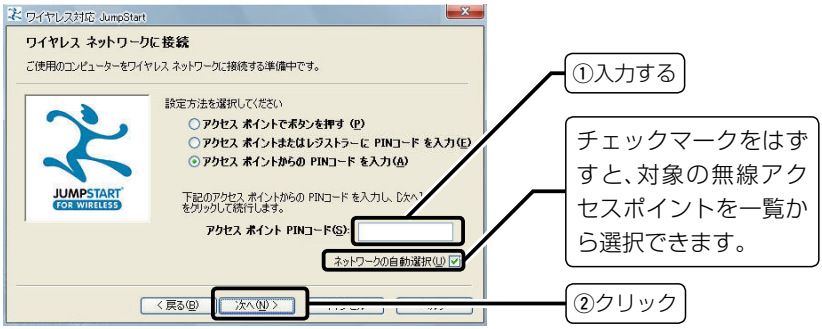


2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

2.「PIN方式」を使用するには

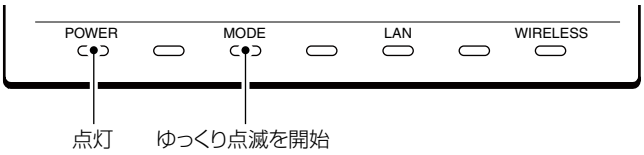
無線アクセスポイントのPINコードを自動設定に使用する場合

6 AP-80の「PINコード」を「アクセスポイントPINコード(S):」のテキストボックスに入力して、〈次へ(N)>〉をクリックします。



7 [MODE]ランプが非常にゆっくりと点滅(緑色)していることを確認します。

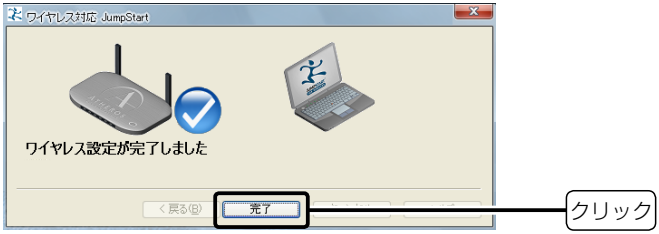
※環境によっては、一瞬に下記の状態を完了し、点灯状態に切り替わっている場合があります。
※AP-80の場合、設定に失敗(2分以上経過)すると、[MODE]ランプの点滅が赤色(20秒後消灯)に切り替わりますので、はじめから操作をやりなおしてください。
※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



8 自動設定を開始すると、下記の画面を表示します。
次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。

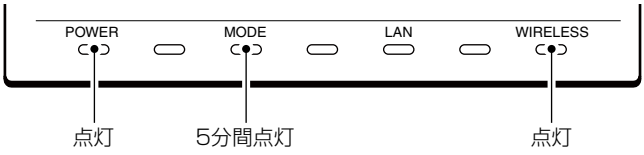
※5分以上経過しても画面が変化しない場合は、「ワイヤレス設定を失敗しました」と表示後に、はじめから操作してください。

9 下記の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。



※「ワイヤレス設定が完了しました」と表示された下に、上記以外の内容を表示する場合は、自動設定に失敗していますので、はじめからやりなおしてください。

10 AP-80の[MODE]ランプと[WIRELESS]ランプが点灯します。
※5分後、[MODE]ランプは、消灯します。
※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



2 JUMPSTART™を使用して自動設定するには

2.「PIN方式」を使用するには

自動設定したいSSIDと共有鍵(キー)を指定する場合

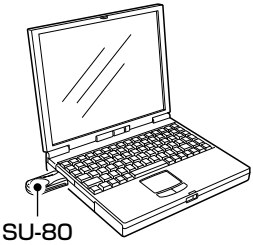
無線アクセスポイントのPINコード、および通信に使用するSSIDと共有鍵(キー)をJUMPSTART™の設定画面に入力することで、その内容を本製品を装着するパソコンと無線アクセスポイントに自動設定します。

※無線アクセスポイントは、AP-80(弊社製)での使用例を説明します。
※稼動中の無線アクセスポイントに対して使用するときは、ほかの無線LAN端末との通信に影響がないことを確認してからご使用ください。

1 JUMPSTART™アプリケーションがインストールされたパソコンに本製品を装着します。

※インストールされていると、下図のような常駐を示すアイコンがタスクバーに表示します。

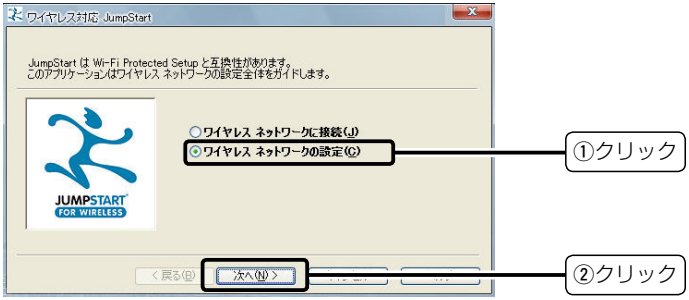
JUMPSTART™のアイコン



2 JUMPSTART™アプリケーションを起動します。

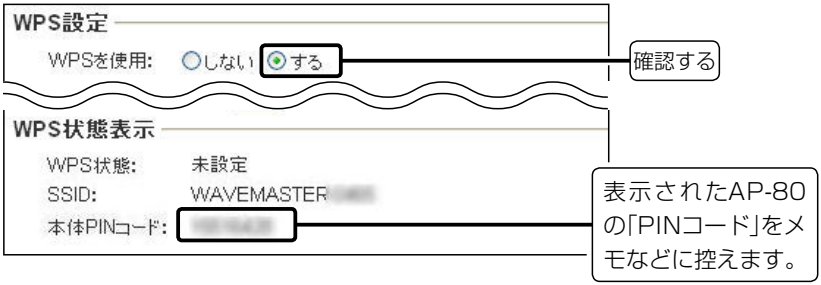
※JUMPSTART™のアイコン(☞手順1.)上で、右クリックの操作をしても起動できます。

3 「ワイヤレスネットワークの設定(C)」、〈次へ(N)>>〉の順にクリックします。

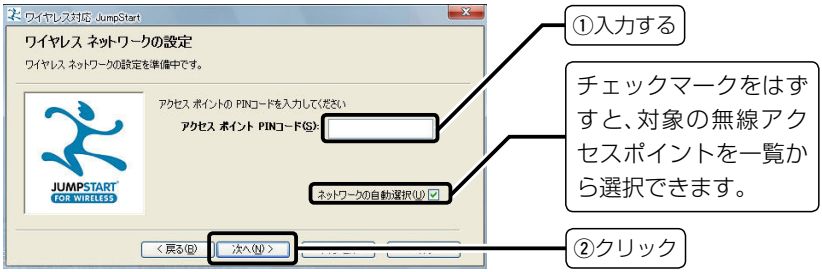


4 AP-80の設定画面にアクセスし、下記の画面で本製品に入力する「PINコード」を確認します。

※ AP-80のWPS機能は、あらかじめ、「有効」に設定されているものとします。



5 上記画面で表示されたAP-80の「PINコード」を「アクセスポイントPINコード(S):」のテキストボックスに入力して、〈次へ(N)>〉をクリックします。



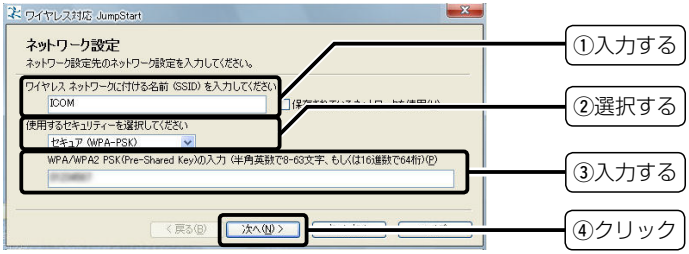
6 自動設定を開始すると、下記の画面を表示します。
次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。

2.「PIN方式」を使用するには

自動設定したいSSIDと共有鍵（キー）を指定する場合

7 無線ネットワーク名（SSID）と共有鍵（キー）を入力して、〈次へ(N)>〉をクリックします。

※ 使用するセキュリティーは、「なし」、または「WPA-PSK」を選択できます。

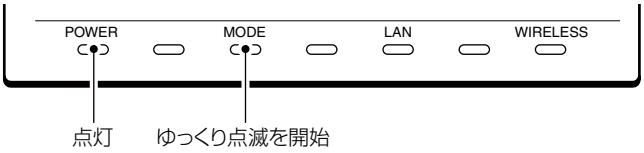


8 [MODE]ランプが非常にゆっくりと点滅（緑色）していることを確認します。

※環境によっては、一瞬に下記の状態を完了し、点灯状態に切り替わっている場合があります。

※AP-80の場合、設定に失敗（2分以上経過）すると、[MODE]ランプの点滅が赤色（20秒後消灯）に切り替わりますので、はじめから操作をやりなおしてください。

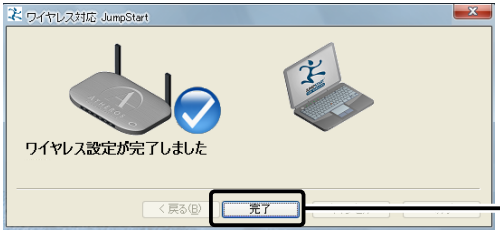
※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。



9 指定した内容で自動設定を開始すると、下記の画面を表示します。
次の画面に切り替わるまで、しばらく待ちます。

※5分以上経過しても画面が変化しない場合は、「ワイヤレス設定を失敗しました」と表示後に、はじめから操作してください。

10 下記の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。

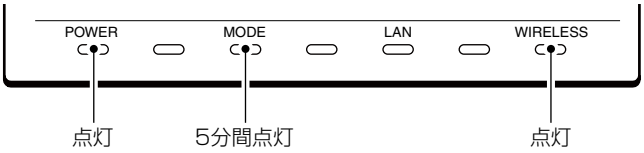


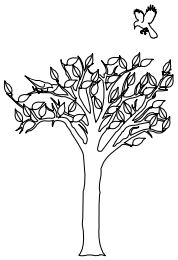
※「ワイヤレス設定が完了しました」と表示された下に、上記以外の内容を表示する場合は、自動設定に失敗していますので、はじめからやりなおしてください。

11 AP-80の[MODE]ランプと[WIRELESS]ランプが点灯します。

※5分後、[MODE]ランプは、消灯します。

※[LAN]ランプと[WIRELESS]ランプは、AP-80の接続状態により異なります。





アクセスポイントと無線通信するには

第3章

この章では、
アクセスポイントと無線通信するための操作について、Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を例に説明します。

※設定ユーティリティーをご使用になる場合は、「設定に使用するときは」(☞P12)をご覧ください。
JUMPSTART™をご使用の場合は、本書2章をご覧ください。

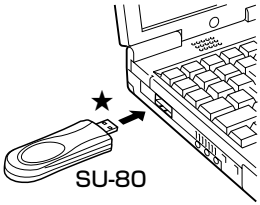
1. ワイヤレスネットワーク接続を使うには …… 64
〈別の接続に切り替えるには〉 …… 66
2. 手動で無線アクセスポイントへの接続設定をする …… 67
〈接続の手順〉 …… 67
3. 自動接続の優先順位について …… 72
〈操作のしかた〉 …… 72
4. 「ANY接続拒否」に変更されている場合の接続 …… 73
〈設定の手順〉 …… 73

3 アクセスポイントと無線通信するには

1. ワイヤレスネットワーク接続を使うには

〈接続の手順〉

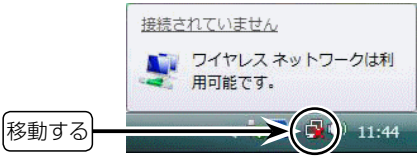
1.SU-80を接続します。



★[USB]ポートの位置は、お使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書などでご確認ください。

2.マウスポインターを[ネットワーク]アイコンの上に移動します。

●下記の画面が表示されます。

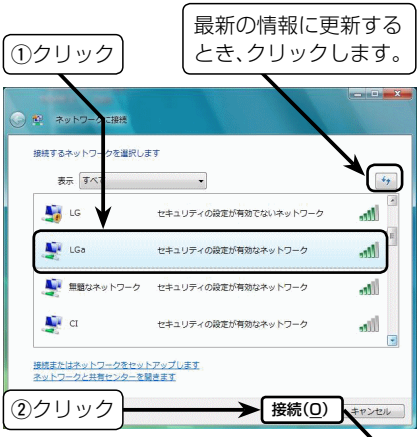


3.[ネットワーク]アイコンをクリックします。

※無線LANの電波が検出できない環境では、「×」マークを[ネットワーク]アイコンに表示しますが、操作方法は同じです。

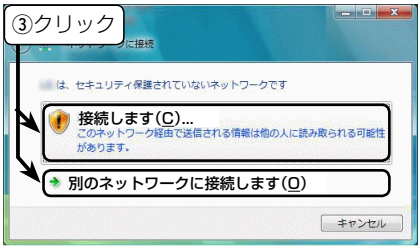
4.[ネットワークに接続]をクリックします。

5.無線アクセスポイントを選択します。



※[ANY接続拒否]が「する」に設定されている弊社製無線アクセスポイントの場合は、SSIDを「無題なネットワーク」と表示します。
「無題なネットワーク」への接続は、SSIDをネットワーク管理者に問い合わせて、手動で接続(☞P67)してください。

【暗号化されていないネットワークの場合】
下記の画面で、表示される内容にしたがって、どちらかをクリックします。



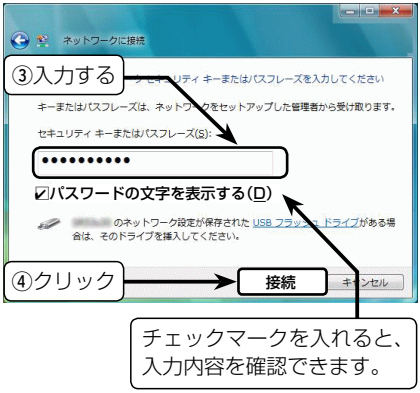
【暗号鍵(キー)が必要な場合】☞次ページへ
【RADIUS認証が必要な場合】☞次ページへ

5.無線アクセスポイントを選択します。

（つづき）

【暗号鍵（キー）が必要な場合】

ネットワーク認証が、「共有キー」、「WPA」、「WPA2」に設定された無線アクセスポイントへの接続は、プロファイルを手動で作成（☞P67）すると接続できます。

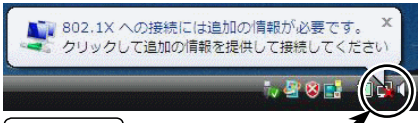


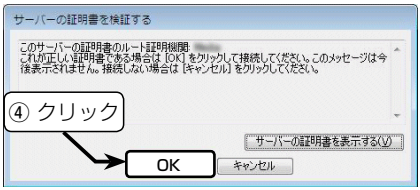
【RADIUS認証が必要な場合】

※EAP-TLS方式は、「クライアント証明書」がインストールされたパソコンが必要です。

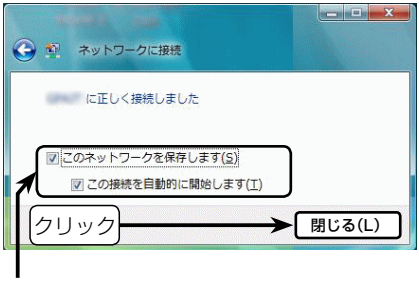
※「クライアント証明書」については、認証サーバーの管理者にお尋ねください。

※Windows Vistaのワイヤレスネットワーク機能は、PEAP-EAP方式に対応していません。





6.〈閉じる(L)〉をクリックします。



※次回起動時の接続について

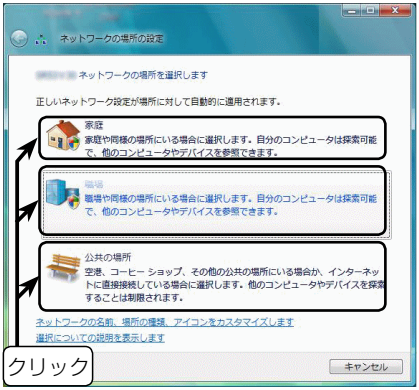
[このネットワークを保存します(S)]のチェックボックスにチェックマークを入れると、[この接続を自動的に開始します(T)]にもチェックマークが入り、次回、本製品をパソコンに接続したとき、自動で電波状況の良い無線アクセスポイントを検索して、優先的に自動接続します。

また、[ワイヤレスネットワークの管理]に設定が自動登録され、登録された複数の無線ネットワークについて、自動接続の優先順位を切り替えできます。（☞P72）

7.ネットワークの場所（家庭、職場、公共の場所）を選択します。

※暗号化されていないネットワークに接続する場合、手順7.以降の操作はありません。

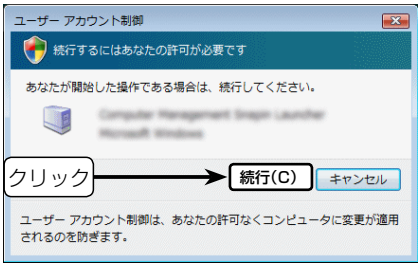
※下記の画面では、接続するネットワーク環境に応じて選択してください。



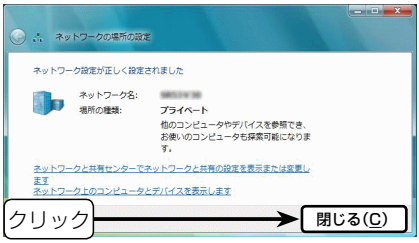
1. ワイヤレスネットワーク接続を使うには

〈接続の手順〉(つづき)

8.〈続行(C)〉をクリックします。



9.〈閉じる(C)〉をクリックします。



10.マウスポインターを[ネットワーク]アイコンの上に移動します。

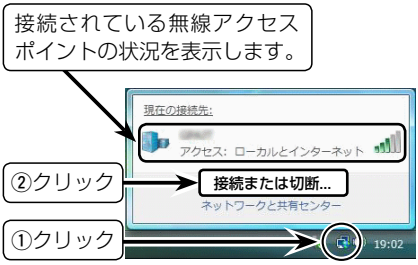
- 下記の画面表示を確認します。

〈別の接続に切り替えるには〉

別の無線アクセスポイントへの接続に切り替える手順を説明します。

1.[ネットワーク]アイコンをクリックします。

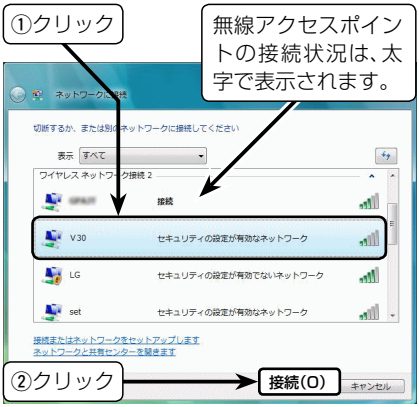
2.[接続または切断...]をクリックします。



3.別の無線アクセスポイントを選択します。

- 〈切断(I)〉ボタンが〈接続(O)〉ボタンに切り替わります。

※下記の操作後は、64ページ(手順5.)以降の操作と同じです。

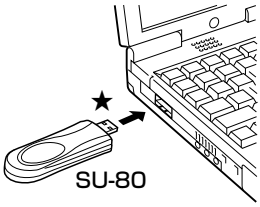


2. 手動で無線アクセスポイントへの接続設定をする

SSIDや暗号鍵(キー)を手動で入力するときや、ネットワーク認証を「共有キー」、「WPA」、「WPA2」、またはWEPキー(キーインデックス)が「1」(出荷時の設定)以外に設定された無線アクセスポイントに接続する手順です。

〈接続の手順〉

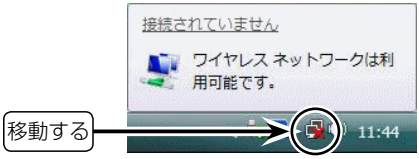
1.SU-80を接続します。



★[USB]ポートの位置は、お使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書などでご確認ください。

2.マウスポインターを[ネットワーク]アイコンの上に移動します。

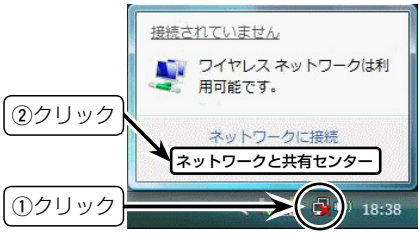
●下記の画面が表示されます。



3.[ネットワーク]アイコンをクリックします。

※無線LANの電波が検出できない環境では、「×」マークを[ネットワーク]アイコンに表示しますが、操作方法は同じです。

4.[ネットワークと共有センター]をクリックします。

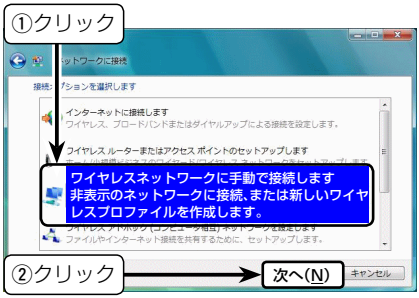


5.[接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

2. 手動で無線アクセスポイントへの接続設定をする

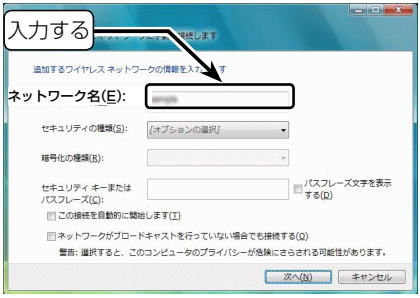
〈接続の手順〉(つづき)

6.[ワイヤレスネットワークに手動で接続します]をクリックします。

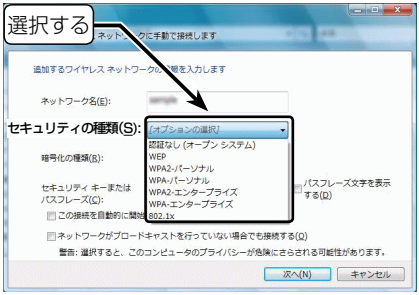


7.[SSID]を入入力します。

※入力するときは、大文字と小文字の区別に注意してください。



8.認証方式を選択します。



【セキュリティの種類(S):】

◎ 認証なし(オープンシステム)

暗号化されていないネットワークへの接続に対応します。

◎ WEP

オープンシステム、または共有キーによるネットワーク認証で暗号化されているネットワークへの接続に対応します。

※64ビット、または128ビットの暗号鍵(キー)に対応します。

※共有キーによる認証で接続するときは、プロファイルのプロパティーで、再設定が必要です。

◎ WPA-パーソナル/WPA2-パーソナル

RADIUSサーバーを使用しない簡易的な方法で、通信相手と共通の暗号鍵を持っているかどうかの認証をします。

※Windows XPでは、「WPA-PSK」、または「WPA2-PSK」と表記されています。

◎ WPA-エンタープライズ/WPA2-エンタープライズ

ご使用のRADIUSサーバーを利用して、「TKIP」/「AES」の暗号化方式をIEEE802.1X認証します。

IEEE802.1X認証には、EAP-TLS方式を使用できます。

なお、PEAP-EAP方式には対応していません。

※Windows XPでは、「WPA」または「WPA2」と表記されています。

◎ 802.1X

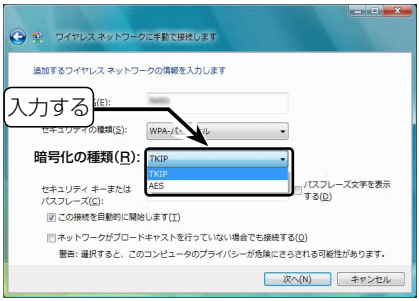
ご使用のRADIUSサーバーを利用して、「WEP」の暗号化方式をIEEE802.1X認証します。

IEEE802.1X認証には、EAP-TLS方式を使用できます。

なお、PEAP-EAP方式には対応していません。

〈接続の手順〉(つづき)

9.暗号化方式を選択します。



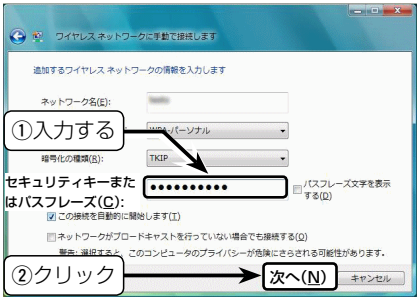
【暗号化の種類(R):】
認証方式で、WPA-パーソナル、WPA2-パーソナル、WPA-エンタープライズ、WPA2-エンタープライズを選択したとき、選択できます。

◎ **TKIP**(Temporal Key Integrity Protocol)
TKIP方式の暗号化をします。

◎ **AES**(Advanced Encryption Standard)
AES方式の暗号化をします。

10.暗号鍵(キー)を入力します。

11.〈次へ(N)〉をクリックします。

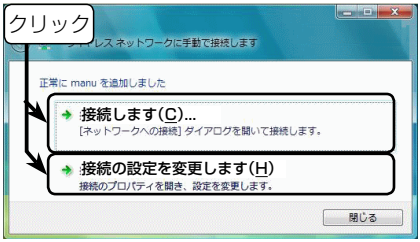


【セキュリティ キーまたはパスフレーズ(C):】
入力した文字数によって、暗号化方式と入力モード(16進数/ASCII)を自動判別します。

◎ **「WEP」選択時**
10または26桁 :16進数モード
5または13文字 :ASCIIモード

◎ **「WPA-パーソナル」/「WPA2-パーソナル」選択時**
64桁 :16進数モード
8〜63文字 :ASCIIモード

12.この設定で接続するか、詳細な設定をするかを選択します。



13.下記の操作をします。

【接続します(C)...をクリックした場合】
接続されると、下記の画面を表示します。

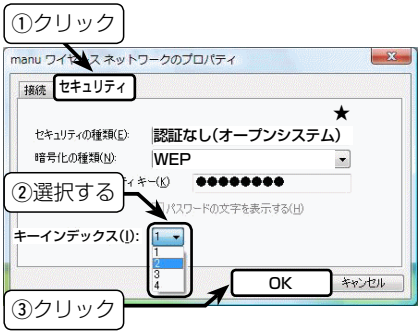
2. 手動で無線アクセスポイントへの接続設定をする

〈接続の手順〉

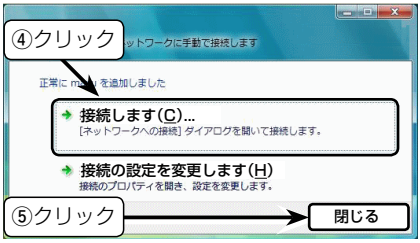
13.下記の操作をします。(つづき)

【接続の設定を変更します(H)をクリックした場合】

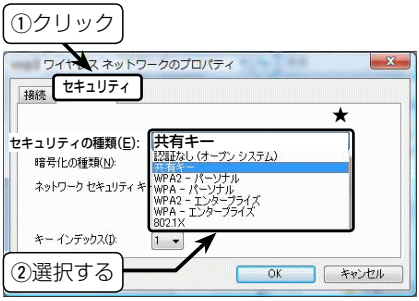
例1.オープンシステムでキーインデックスが「1」以外に設定されているとき



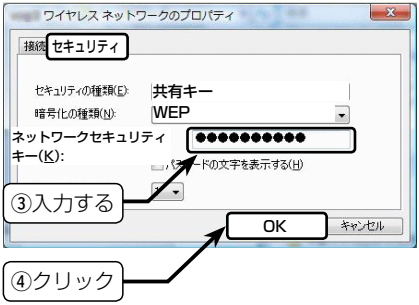
★暗号化されていない、またはオープンシステムによる認証のときは、「認証なし(オープンシステム)」を選択します。

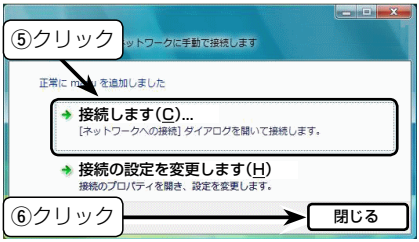


例2.ネットワーク認証が共有キーに設定されているとき



★本書68ページの手順8.の設定で「WEP」を設定すると、上記の画面では「認証なし(オープンシステム)」に設定されていますので、「共有キー」を選択します。



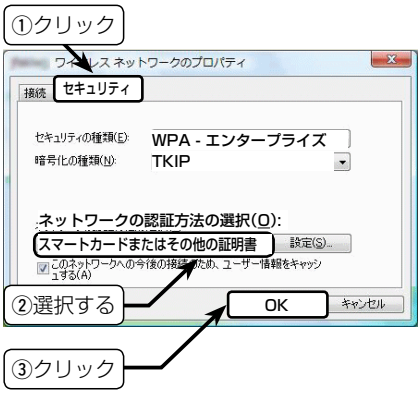


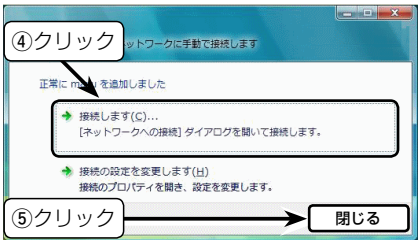
〈接続の手順〉

13.下記の操作をします。

【接続の設定を変更します(H)をクリックした場合】(つづき)

例3.EAP-TLS方式のIEEE802.1X認証で、
ネットワーク認証がWPA、WPA2に設
定されているとき



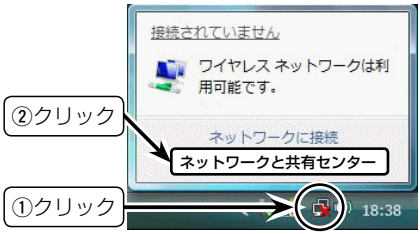


3. 自動接続の優先順位について

無線アクセスポイントへの接続をワイヤレスネットワーク接続(☞P64)、または手動接続(☞P67)で1回接続すると、その接続情報と接続順位が「ワイヤレスネットワークの管理」画面にプロファイルとして登録されます。
「ワイヤレスネットワークの管理」画面では、プロファイルの削除と追加ができます。

〈操作のしかた〉

1.[ネットワークと共有センター]をクリックします。

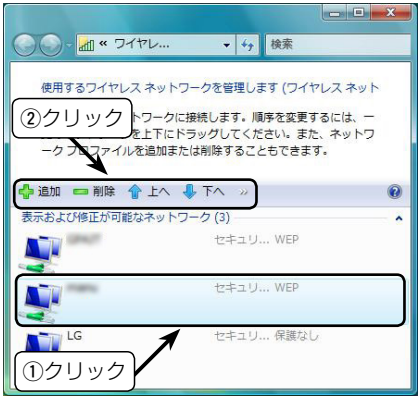


2.[ワイヤレスネットワークの管理]をクリックします。

3.追加、削除、接続順位を変更する無線アクセスポイントを選択します。

4.「＋ 追 加」、「ー 削 除」、「↑ 上 へ」、「↓ 下へ」の中から選択します。

※「＋追加」以外の操作は、目的の無線アクセスポイントを最初に選択してください。



◎「＋ 追加」
新規プロファイルを手動設定します。

◎「ー 削除」
選択したプロファイルを削除します。

◎「↑上へ」
選択したプロファイルの優先順位を上げます。

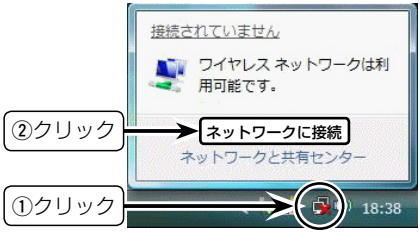
◎「↓下へ」
選択したプロファイルの優先順位を下げます。

4.「ANY接続拒否」に変更されている場合の接続

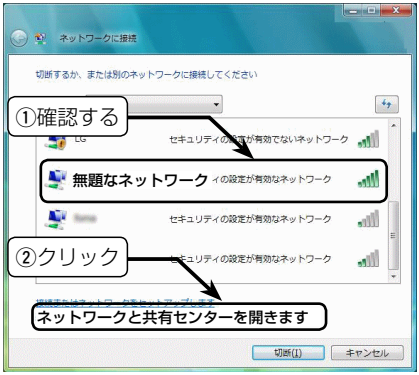
ふだん使用している無線アクセスポイントが、「ANY接続拒否(SSIDを隠す)」に変更されると、Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続(☞P64)画面上では、「無題なネットワーク」と表示されて自動接続されない状態になります。
隠されたSSIDを画面上に表示して、自動接続されるようにプロファイルを変更される場合は、下記の設定をすると接続できることがあります。

〈設定の手順〉

1.[ネットワークに接続]をクリックします。



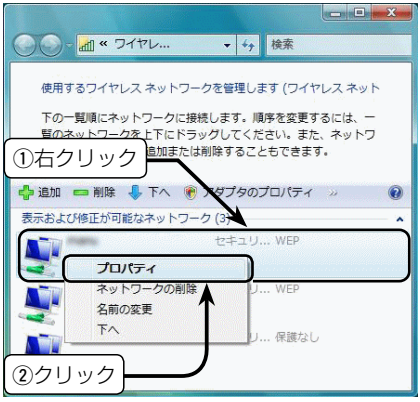
2.「無題なネットワーク」の表示がある場合は、下記の操作をします。



※「無題なネットワーク」の表示がなく、自動接続もしないときは、無線アクセスポイントの電波を受信できていないことがありますので、設定や使用環境を確認してください。

3.[ワイヤレスネットワークの管理]をクリックします。

4.目的の名称を表示するプロファイル上で、右クリックします。
5.プロパティをクリックします。



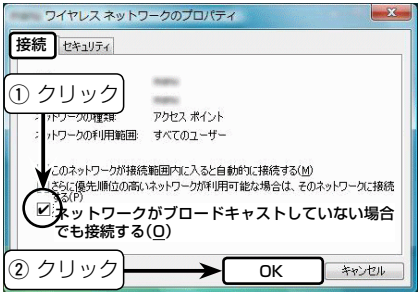
4.「ANY接続拒否」に変更されている場合の接続

〈設定の手順〉(つづき)

6.下記のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れます。

7.〈OK〉をクリックします。

※既存のプロファイルに設定されたSSIDがワイヤレスネットワーク接続の画面上に表示され、自動接続もできるようになります。



8.接続状況を確認して、〈OK〉をクリックします。

パソコン同士で無線通信するには

第4章

この章では、
無線LAN端末と直接通信するためのIPアドレスの設定について、Windows Vistaを例に説明します。

※Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続での「アドホック」モードの使用には対応していませんので、この章でパソコンのIPアドレスを設定後は、設定ユーティリティー（☞1章）を使用して、「アドホック」モードの無線LAN端末と通信してください。

1. パソコンのIPアドレスを設定する …… 76
〈設定の手順〉 …… 76

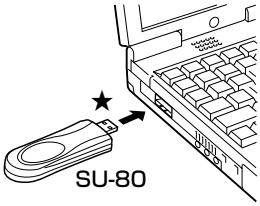
4 パソコン同士で無線通信するには

1. パソコンのIPアドレスを設定する

「アドホック」モードでパソコン同士が無線通信をするには、本製品を装着したパソコンに固定IPアドレスの設定してから、設定ユーティリティー(☞1章)を使用します。

〈設定の手順〉

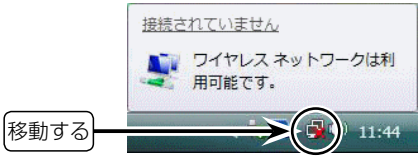
1.SU-80を接続します。



★[USB]ポートの位置は、お使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書などでご確認ください。

2.マウスポインターを[ネットワーク]アイコンの上に移動します。

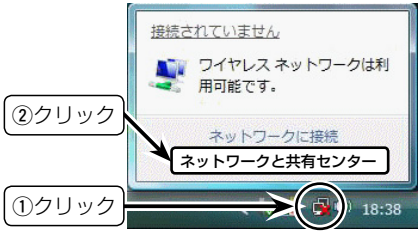
●下記の画面が表示されます。



3.[ネットワーク]アイコンをクリックします。

※無線LANの電波が検出できない環境では、「×」マークを[ネットワーク]アイコンに表示しますが、操作方法は同じです。

4.[ネットワークと共有センター]をクリックします。



■ IPアドレス設定時のご注意

IPアドレス(IPv4)を設定するときは、下記のことを注意してください。

※IPv6(IPアドレス バージョン6)には対応していません。

◎同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのIPアドレスは、重複しないように設定してください。

◎同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのサブネットマスクは、同じ値を設定してください。

◎小規模なネットワーク(254台まで)でご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0～192.168.255.255を使用します。
なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、パソコンには割り当てないでください。(×××:0～255)

3台のパソコン(例:A,B,C)で無線LANを構成するときは、以下のようになります。

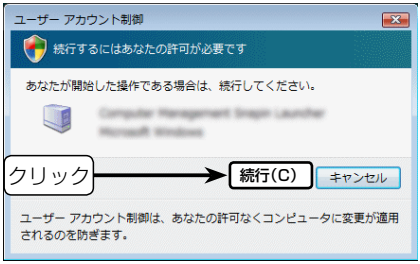
パソコンA:192.168.0.10(サブネットマスク:255.255.255.0)
パソコンB:192.168.0.11(サブネットマスク:255.255.255.0)
パソコンC:192.168.0.12(サブネットマスク:255.255.255.0)

〈設定の手順〉(つづき)

5.[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

6.本製品の[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを右クリックして表示されるメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。

7.〈続行(C)〉をクリックします。

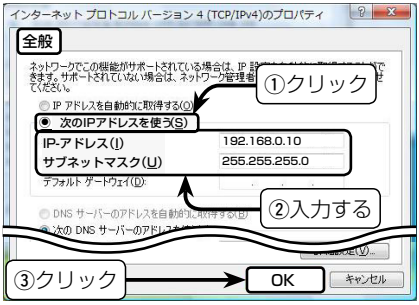


8.本製品の名称表示を確認します。

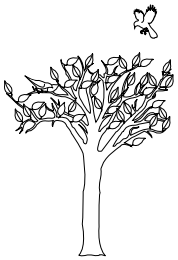
9.[インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]、〈プロパティ(R)〉をクリックします。

10.[次のIPアドレスを使う(S)]をクリックします。

11.[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力して、〈OK〉をクリックします。



12.手順9.の画面で、〈OK〉をクリックします。



ご参考に

第5章

この章では、
ドライバーのインストール状態の確認方法や困ったときの対処方法などについて説明します。

1. 本製品の取りはずしかた …… 80
Windows Vistaでご使用の場合 …… 80
Windows XPでご使用の場合 …… 80
2. ドライバーのインストール状態を確認するには …… 81
〈確認の手順〉 …… 81
3. Pingコマンドで接続を確認するには …… 83
〈確認の手順〉 …… 83
4. 困ったときは …… 84
インストールできない …… 84
ドライバーが正しくインストールできない …… 84
パソコンに接続してもランプが点滅しない …… 84
設定ユーティリティーを使用できない …… 84
JUMPSTART™を使用できない …… 84
Windows XP/Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用できない …… 84
JUMPSTART™で自動設定できない …… 85
無線アクセスポイントと通信できない …… 85
「アドホック」モードでパソコン同士が無線通信できない …… 86

5 ご参考に

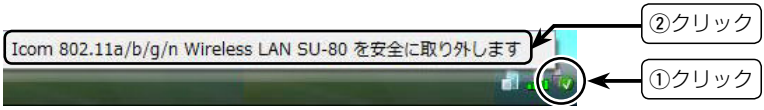
1. 本製品の取りはずしかた

Windows Vistaでご使用の場合

〈取りはずすときの手順〉

1.アイコンをクリックします。

2.「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80を安全に取り外します」をクリックします。



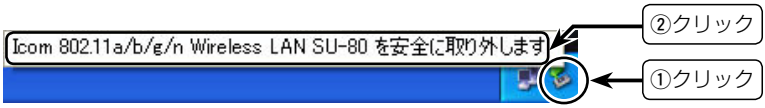
3.〈OK〉をクリックします。

Windows XPでご使用の場合

〈取りはずすときの手順〉

1.アイコンをクリックします。

2.「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80を安全に取り外します」をクリックします。



3.下記の表示を確認します。

■ 取りはずしについてのご注意

本製品をパソコンから取りはずすときは、本製品がデータを送信、または受信中でないことを確認してから取りはずすようにしてください。
データを送信、または受信中に取りはずすと、データの破壊や消失の恐れがあります。

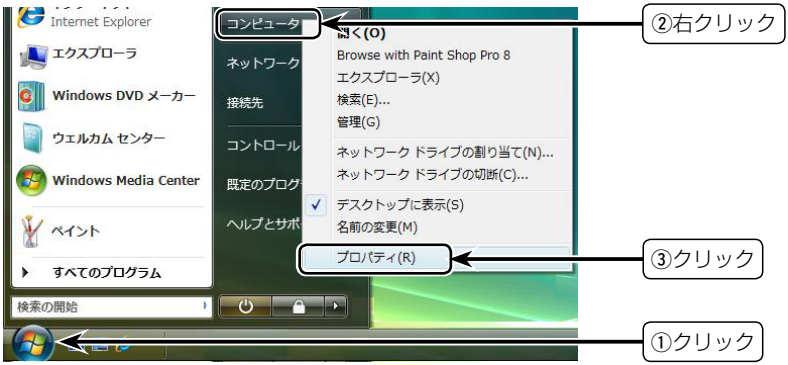
2. ドライバーのインストール状態を確認するには

Windows Vistaを例に、本製品のドライバーが正常にインストールされていることを確認する手順を説明します。

〈確認の手順〉

1.下記の操作で、コンピュータのプロパティを開きます。

●「システム」画面を表示します。



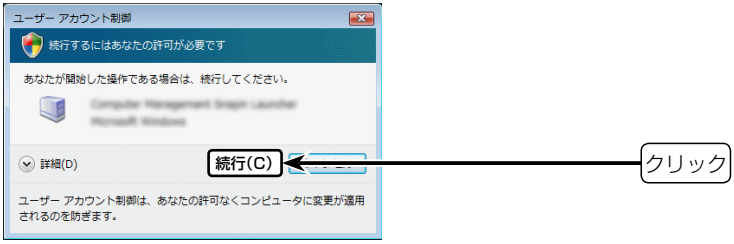
2.[デバイスマネージャ(M)]をクリックします。

2. ドライバーのインストール状態を確認するには

〈接続の手順〉(つづき)

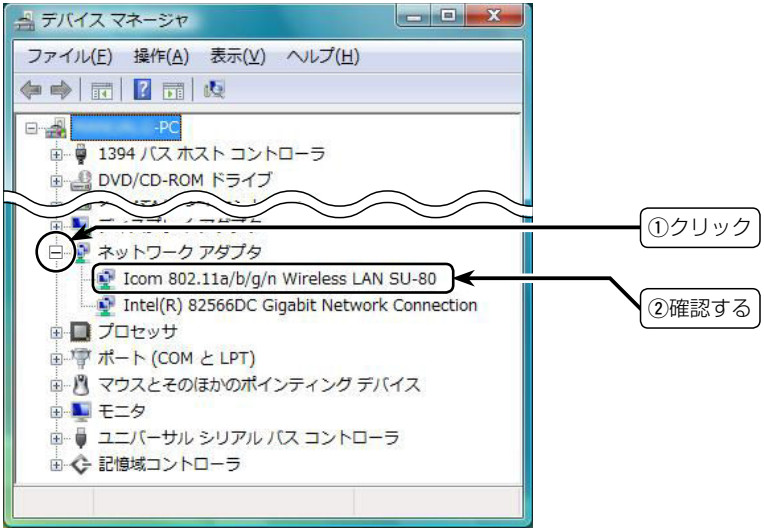
3.〈続行(C)〉をクリックします。

●「デバイスマネージャ」画面を表示します。



4.「ネットワークアダプタ」の⊞をクリックします。

●正しくインストールされている場合は、「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80」を下記のように表示します。



※ 上記画面で、「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80」のアイコンに「!」マークが付いている、または[ほかのデバイス]項目に「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80」が表示されているときは、本製品のドライバーを再インストールしてください。
再インストールするときは、本製品をパソコンから取りはずしてからインストールしてください。

3. Pingコマンドで接続を確認するには

Windows XPを例に、IPパケットが通信先に正しく届いているかを、確認する手順を説明します。

※ Windows Vistaをご使用の場合は、「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windowsの機能の有効化または無効化」から、[Telnetクライアント]を有効にすると、下記の手順で使用できます。

〈確認の手順〉

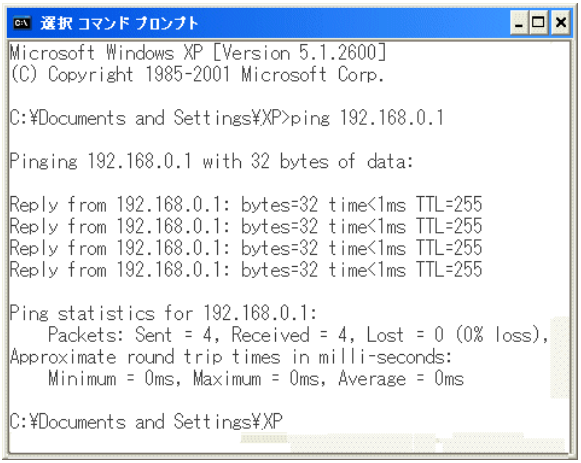
1.〈スタート〉→[すべてのプログラム(P)]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順に操作します。

2.キーボードからPingコマンドを入力して、[Enter]キーを押します。

※「192.168.0.1」を相手先のIPアドレスとすると、下記のようになります。
ping 192.168.0.1と入力して、[Enter]キーを押します。

3.接続が正常なときは、下記のような結果を表示します。

※画面中に表示される数値については、ご使用のネットワーク環境によって異なります。



4. 困ったときは

下記のような現象は、故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

インストールできない

OSを管理者(administrator)権限でログオンしていない
→ OS(Windows Vista/Windows XP)を管理者のユーザー名でログオンしなおす

ドライバーが正しくインストールできない

「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80」のアイコンに「!」マークが付いている、または[ほかのデバイス]項目に「Icom 802.11a/b/g/n Wireless LAN SU-80」が表示されている
→ 本製品をパソコンから取りはずして、ドライバーを再インストールする

パソコンに接続してもランプが点滅しない

❶ パソコンの[USB]ポートが機能していない
→ パソコンの取扱説明書を参考に[USB]ポートの状態を調査する

❷ ドライバーが正しくインストールされていない
→ ドライバーのインストール状態を確認する(☞P81)

設定ユーティリティーを使用できない

❶ 本製品がパソコンと正しく接続されていない
→ 本製品との接続を確認する

❷ [ユーティリティーを使用する]項目が「いいえ」(出荷時の設定)に設定されている
→ 設定ユーティリティーの[オプション]タブで「はい」に設定(☞P42)して、パソコンを再起動する

JUMPSTART™を使用できない

❶ 本製品がパソコンと正しく接続されていない
→ 本製品との接続を確認する

❷ [ユーティリティーを使用する]項目が「はい」に設定されている
→ 設定ユーティリティーの[オプション]タブで「いいえ」(出荷時の設定)に設定(☞P42)して、パソコンを再起動する

Windows XP/Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用できない

❶ 本製品がパソコンと正しく接続されていない
→ 本製品との接続を確認する

❷ [ユーティリティーを使用する]項目が「はい」に設定されている
→ 設定ユーティリティーの[オプション]タブで「いいえ」(出荷時の設定)に設定(☞P42)して、パソコンを再起動する

❸ 接続する相手が「アドホック」モードである
→ 設定ユーティリティー(☞1章)を使用して接続する

JUMPSTART™で自動設定できない

❶ 無線アクセスポイントにWPS機能が搭載されていない
→ WPS機能対応の無線アクセスポイント(例:AP-80〈弊社製〉)を用意する

❷ WPS機能が「無効」に設定されている
→ 無線アクセスポイントのWPS機能を「有効」に設定する

❸ 無線アクセスポイントでWPSを開始後、本製品の自動設定を開始するまで、2分以上経過した
→ 2分以内に本製品の自動設定を開始する

❹ ほかの無線LAN端末と自動設定中である
→ ほかの無線LAN端末の自動設定が完了するまで待つ

❺「PIN方式」をご使用の場合、相手のPINコードを間違えて入力している
→ PINコードを確認する
※ご使用になる機種によってPINコードの記載場所がことなりますので、ご使用の無線LAN機器の取扱説明書でご確認ください。

無線アクセスポイントと通信できない

❶ パソコンのIPアドレスを自動取得できていない
→ 接続するネットワークでDHCPサーバー機能が使用されているかを確認し、DHCPサーバー機能を使用しないネットワークの場合は、パソコンのIPアドレスを固定する

❷ 固定IPアドレスをパソコンに設定している
→ [ワイヤレスネットワーク接続]アイコンのプロパティから、本製品のIPアドレスを「IPアドレスを自動的に取得する」に設定されていることを確認する

❸ 本製品が「アドホック」モードに設定されている
→「インフラストラクチャー」モードの相手に接続しなおす

❹ 本製品に設定した[SSID]と異なる無線アクセスポイントしか存在しない
→ [SSID]の設定を現状の無線アクセスポイントに変更するか、ワイヤレスネットワーク接続、または設定ユーティリティーを使用して接続を切り替える

❺ 設定ユーティリティーの[無線ネット表示]タブから、「TKIP」、「AES」の暗号化が設定された無線アクセスポイントに接続を切り替えようとした
→ Windows XP/Windows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用して、接続を切り替える

❻ 無線アクセスポイント側でMACアドレスフィルタリング機能が設定されている
→ 無線アクセスポイント側に本製品のMACアドレスを登録する

❼ 暗号化認証モードが異なるタイプである
→ 無線アクセスポイントの認証モードと同じ設定にする

❽ 暗号化方式、または暗号鍵(キー)が異なっている
→ 暗号化方式と暗号鍵(キー)を同じ設定にする、「WEP RC4」を使用する場合は、[キーインデックス]の設定も併せて確認する

4. 困ったときは

「アドホック」モードでパソコン同士が無線通信できない

❶ Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用している

→ 設定ユーティリティーを設定や接続に使用する(☞1章)

※本製品は、Windows XPやWindows Vista標準のワイヤレスネットワーク接続を使用した「アドホック」モードの無線通信には対応していません。

❷ パソコンのIPアドレスを自動取得に設定している

→ [ワイヤレスネットワーク接続]アイコンのプロパティから、本製品のIPアドレスを固定(☞P76)で割り当てる

❸ 本製品が「インフラストラクチャー」モードに設定されている

→ 「アドホック」モードの相手に接続しなおす

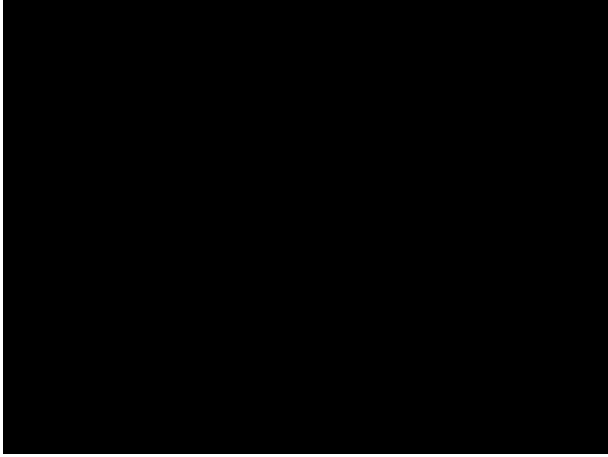
❹ [SSID]の設定が通信するほかのパソコンと異なる

→ [SSID]の設定をほかのパソコンと同じに変更する

❺ 暗号化方式、または暗号鍵(キー)が異なっている

→ 暗号化方式と暗号鍵(キー)を同じ設定にする、「WEP RC4」を使用する場合は、[キーインデックス]の設定も併せて確認する

高品質がテーマです。



A-6717-3J
© 2008 Icom Inc.

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32